

# 京都マラソン2014

## ランナー調査研究レポート



### 【調査研究の結果概要】

- ☑ 男性ランナーの5割がサブ3・サブ4、女性ランナーの5割がサブ5
- ☑ 男性・女性ランナーのサブ3・サブ4はフルマラソンの完走10回以上が4割弱
- ☑ 男性・女性ランナーのサブ3・サブ4は3割以上がランニング歴10年以上
- ☑ 大会全体では、スタッフ・ボランティアの対応、ホームページの満足度が高い
- ☑ スタートでは、スタート時刻の変更、手荷物預かりの満足度が高い
- ☑ コースでは、沿道の応援、給水の満足度が高い
- ☑ フィニッシュでは、フィニッシャータオル、完走メダルの満足度が高い
- ☑ 7割以上のランナーが京都マラソン2015のコース変更検討を知っている
- ☑ 京都マラソン2014の評価は男性が84.2点、女性が85.3点
- ☑ 京都マラソン参加理由は、京都で行われる大会、観光名所を走ることができること
- ☑ 男性ランナーの9割、女性ランナーの9割弱が京都マラソン2015に参加予定

平成26年8月

京都マラソン実行委員会事務局

(京都市文化市民局市民スポーツ振興室)

調査研究：京都マラソン2014 マネジメント・リサーチ・チーム

同志社大学スポーツ健康科学部二宮研究室  
龍谷大学経営学部松永研究室  
立命館大学スポーツ健康科学部長積研究室

## 目 次

I. 調査研究の概要	P1
II. 京都マラソン 2014 の概要	P3
III. 京都マラソン 2014 の検証	P4
IV. 調査研究の分析結果	
1. 個人属性	P6
1) 性別 2) 年齢 (年代) 3) 職業 4) 世帯所得 5) 最終学歴	
2. ランニング活動	P9
1) フルマラソン完走タイム 2) フルマラソン完走回数 3) ランニング大会出場回数	
4) ランニング歴 5) 月間平均走行距離 6) 月間平均走行頻度 7) 陸上競技協会登録	
3. イベント満足度・評価	P16
1) 大会全体 2) スタート 3) コース 4) フィニッシュ	
5) スタート会場<(1)交通手段 (2)応援 (3)更衣エリア> 6) コース設定	
7) フィニッシュ会場<(1)更衣エリア (2)おつかれさま広場 (3)帰りルート (4)待ち合わせ (5)交通手段>	
8) 京都マラソン 2015 コース変更の検討 9) コース変更を知った媒体	
10) 京都マラソン 2014 の点数	
4. マラソン参加	P36
1) 同伴者 2) イベント情報収集 3) 参加理由 4) 京都マラソンの参加予定	
5) マラソン参加経験<(1)シティハーフマラソン参加経験 (2)京都マラソン 2012 参加経験 (3)京都マラソン 2013 参加経験 (4)京都マラソンボランティア参加経験>	
5. ランニング関連	P44
1) シューズ所有 2) ウエア所有数 3) 小物類の所有数 4) ランニング用品へのこだわり	
5) ランニング関連消費支出<(1)ランニング用品 (2)ランニング雑誌・書籍 (3)ランニング参加支出>	
6) ランニングへの取組	
6. 自由記述意見	P52

# I 調査研究の概要

## 1. 調査目的

本調査は、「京都マラソン2014」参加ランナーを対象として、ランニング活動、イベント満足度・評価、イベント消費支出、マラソン参加、ランニング関与、個人属性などについて調査することにより、今後の大会運営の改善を図るとともに、スポーツ参加者の行動様式を明らかにすることを目的としている。

## 2. 調査内容

### 1) ランニング活動

エントリー種目、フルマラソン完走タイム、フルマラソン完走回数、ランニング大会出場回数、ランニング歴、月間平均走行距離、月間平均走行頻度、陸上競技協会登録

### 2) イベント満足度・評価

大会全体、スタート、コース、フィニッシュ、スタート会場、コース設定、フィニッシュ会場

### 3) イベント消費支出

交通費、宿泊費、飲食費、日用品・食品費、土産代・買物費、スポーツ用品費、入場料・施設使用料

### 4) マラソン参加

同伴者、イベント情報収集、参加理由、京都マラソンの参加予定、マラソン参加経験、交通手段、所要時間、宿泊日数

### 5) ランニング関連

シューズ所有数、ウェア所有数、ランニング用品へのこだわり、ランニング関連消費支出、ランニングへの取組

### 6) 個人属性

性別、年齢、居住地、職業、世帯所得、最終学歴

## 3. 調査対象

京都マラソン2014の参加ランナー

## 4. 調査期間

平成26年2月19日～3月10日

## 5. 調査方法

インターネット調査：京都マラソン2014公式サイトや参加案内パンフレットで告知するとともに、参加ランナーへのメール連絡において調査実施の案内を行った。承諾したランナーがリンク先の「京都マラソン2014ランナー調査」ウェブサイトにて回答を行った。

## 6. 回収結果

有効標本数：4,483 票

## 7. 調査研究の分析枠組み

本調査研究は、ランナータイプと性別によって類型化した京都マラソン参加者の行動様式を明らかにすることを目的としており、その研究成果を大会運営のための基礎資料として役立てることを目指している。

本調査研究の分析枠組みは、独立変数(説明変数)としてランナータイプと性別を設定した。ランナータイプは、自己ベストタイムが3時間未満と4時間未満のランナーを「サブ3・サブ4」、4時間以上5時間未満のランナーを「サブ5」、5時間以上のランナーと完走したことがないランナーを「5時間以上・完走経験なし」というグループに分類した。つまり、男性と女性別に、マラソンの完走タイムが異なるランナーの行動様式について分析していく。従属変数(被説明変数)には、行動様式として、ランニング活動、イベント満足度・評価、マラソン参加、ランニング関連を取り上げた。

## Ⅱ. 京都マラソン 2014 の概要

第3回大会「京都マラソン 2014」は、日程をこれまでの3月第2日曜日から2月第3日曜日に変更し、スタート・終了時間を30分繰り下げるとともに、開催日の2月16日が京都議定書の発効日と重なることから、これまでの「東日本大震災復興支援」に加え、「DO YOU KYOTO?マラソン」を新たにメインコンセプトの一つに掲げて実施した。

開催に当たっては、「京都市民粋」の新設による定員の1,000名増、日程変更による積雪や寒さ対策、新たに掲げた「DO YOU KYOTO?マラソン」にふさわしい環境に配慮した取組、「InterFaith 駅伝～平和を願う祈りの駅伝～」の併設など、多くの新たな取組を行った。

当日は、市民及び事業者の皆様並びに関係機関の御協力の下、競技運営や医療救護面において大きな事故もなく、安全で円滑な大会を運営することができ、国内外から参加された約15,500名のランナー、大会を支えた約14,400名のスタッフ・ボランティア、応援いただいた約478,000名の観客の皆様、延べ500,000名を超える方々の参加の下、京都から息の長い復興支援の力強いメッセージを発信した。

(下線部：前回大会からの主な変更点)

大会名称	京都マラソン 2014
メインコンセプト	<u>「DO YOU KYOTO?マラソン」</u> 「東日本大震災復興支援」
主 催	京都市、一般財団法人京都陸上競技協会
共 催	京都市体育振興会連合会、京都新聞社、KBS 京都、α-STATION
日 時	<u>平成 26 年 2 月 16 日 (日)</u> <u>8:55</u> 車いす競技 スタート <u>9:00</u> マラソン・ペア駅伝 スタート <u>15:00</u> マラソン・ペア駅伝 終了
定 員	マラソン <u>15,900</u> 名 ペア駅伝 100組 200名 車いす競技 20名
ランナー数	出走者 15,532名 完走者 14,596名 (完走率 94.0%)
スタッフ数	約 14,400名
応援人数	約 478,000名
おこしやす広場 入場者数	約 26,000名 <2月14日(金)～15日(土)>

### Ⅲ. 京都マラソン 2014 の検証

#### 1 荒天によるランナー受付時間延長

大会3日前、2月13日(木)の夕刻から降雪があり、翌14日(金)のランナー受付開始時、会場のみやこめっせは雪に覆われた。幸い、その後、雪は雨に変わり、京都市内に大きな影響はなかったものの、関東地方を中心に大会前日、15日(土)の交通機関が大きく乱れた。これを受け、同日のランナー受付締切を当初予定の19:00から22:00まで延長することとし、その旨を15日(土)の10:30に公式サイトを通じ発表した。この延長措置に対し、感謝する声が寄せられる一方、できるならば14日(金)中に延長の判断が欲しかったとの意見もあり、今後、同様の事態が発生した際は、より速やかな判断を行いたい。

#### 2 走路対策

前日までの雪、雨により、鴨川(賀茂川)の河川敷の走路環境が悪化した。当該区間は土系舗装されているものの、水たまりが発生したため、京都マラソン実行委員会事務局職員や運営スタッフが、夜を徹した除水作業により環境整備を行った。この作業についてテレビ等で紹介されたこともあり、ランナーから賞賛する声を多数いただいた。引き続き、少しでも走りやすい環境整備に努めてまいりたい。

#### 3 スタート時間の後ろ倒し

2月開催に伴い、寒さや日の出時間、降雪時の除雪対応等を考慮し、スタート時間をこれまでの8:30から30分遅らし9:00とした。運営上の問題点も特段なく、ランナーからも、「非常に満足」「満足」の回答が約85%を占めるなど、大きな支持を得ることができた。次回以降も9:00スタートを継続していきたい。

#### 4 定員1,000人増

京都市民枠の新設に伴い、定員の1,000人増を行った。一部のランナーからは、「もっと定員を増やしてほしい」という声があったものの、スタート直後やコース幅が1車線になる後半部分を中心に混雑が激しいので、16,000人の定員を多いと感じる意見もあった。これらは、フルマラソンやハーフマラソンの経験がないランナーの「何となくの予想タイム」や「走力に合わないタイム申告」により、前方ブロックに走力のないランナーが配置され、後続のランナーが追い抜くのにストレスを感じ、時にはぶつかったりと、スムーズなスタートに支障が生じたのが、一つの原因であると思われる。

この点を踏まえ、次回大会においては、過去3年間にマラソン・ハーフマラソンの完走タイムを有するランナーを前方ブロックに配置するという、スタートブロックの整列方法の改善(より走力に合った整列)を行うこととした。

## 5 参加賞 BUFF

寒さ対策や京都マラソンの独自性の打ち出しを図る観点から、これまでのTシャツに替わり、1枚でヘッドバンドやネックウォーマーなど、何通りもの使い方ができるスペイン生まれの多機能ギア・BUFFを導入した。そのユニークな形態は人気を博し、大会当日は半数を超えるランナーに様々な方法で着用いただいた。ただ、京都マラソンの記念Tシャツを参加の記念に希望する声も一定数あり、今後、オフィシャルグッズの数量充実等を通じ、その期待に応えていきたい。

## 6 ニックネームゼッケン

沿道の盛り上げを図る観点から、ニックネームゼッケン（有料/500円）を初めて導入したところ、約13%のランナーから申込みがあった。ランナーからは、「沿道からニックネームで応援してもらえて本当に良かった」など大好評であり、また、応援者からも、「仮装が禁止されているのでランナーはみんな同じような格好。そんな中、ニックネームで呼ぶことができ、とても応援しやすかったです」などと、沿道の盛り上がりにも貢献した。次回以降も継続的に実施していきたい。

## 7 フィニッシュ会場

前回大会 2013 大会において実施した岡崎公園を周回するランナーサービス導線や、みやこめっせの一般応援者への開放は、突然の風雨、気温低下の影響も大きく受け、フィニッシュ後のランナーに長距離移動を強いるとともに、みやこめっせ会場内もランナーと応援者で大きな混雑が生じる結果となった。この結果を踏まえ、2014 大会においては、ランナー動線の大幅な短縮及び更衣スペースの拡大を図るとともに、混雑緩和を図る観点から、みやこめっせのランナー専用エリア化及び応援者向けの待ち合わせ広場を2箇所（「北側」「南側」）に分散させる取組を行った。応援者の迂回誘導が複雑となり、一部で混乱が生じる場面もあったが、好天に恵まれたこともあり、無事運営することができた。次回大会においては、コース変更に伴い、一部レイアウトの変更が必要となる。これまでの開催実績を活かし、スムーズな会場運営を図りたい。

## 8 「InterFaith 駅伝～平和を願う祈りの駅伝～」の併設

異なる宗教者がたすきをつなぐ4区駅伝が、「InterFaith 日本実行委員会」主催のもと、京都マラソン実行委員会が運営協力し、京都マラソンに初めて併設開催された。当日は、京都マラソンと同じコースを10組40名が出走し、仁和寺前、北山ふれあいセンター前（ノートルダム学院小学校前）、河川敷・聖ドミニコ修道院前を中継点に全員がたすきをつなぎ、完走した。開催に当たっては、ゼロからの企画となり、様々な調整が必要となったが、ペア駅伝（2区駅伝）の実績も活かしながら、大きな問題なく運営することができた。次回大会においても、引き続き併設開催されることとなっている。

## IV. 調査研究の分析結果

### 1. 個人属性

#### 1-1) 性別

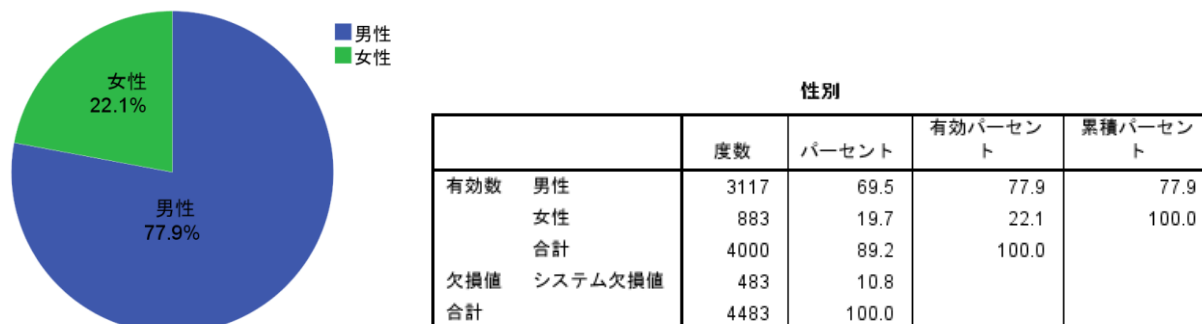
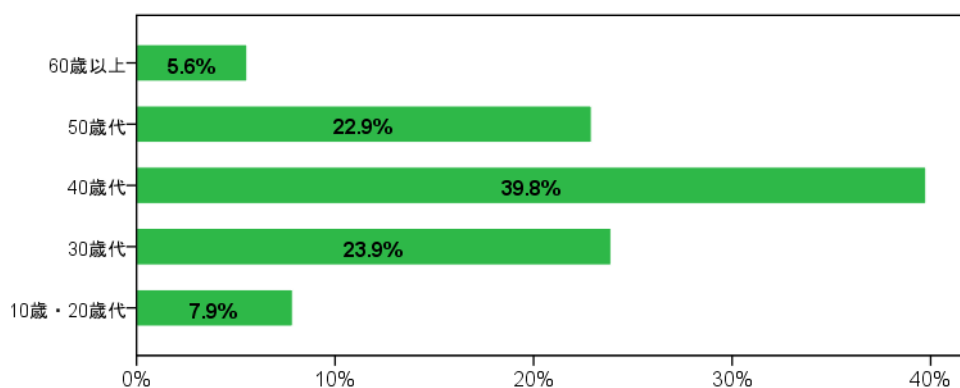


図1-1)、表1-1)は、マラソン参加者の男女比を示している。男性が77.9%、女性が22.1%となっており、男性がおよそ8割を占めていた。

#### 1-2) 年齢（年代）

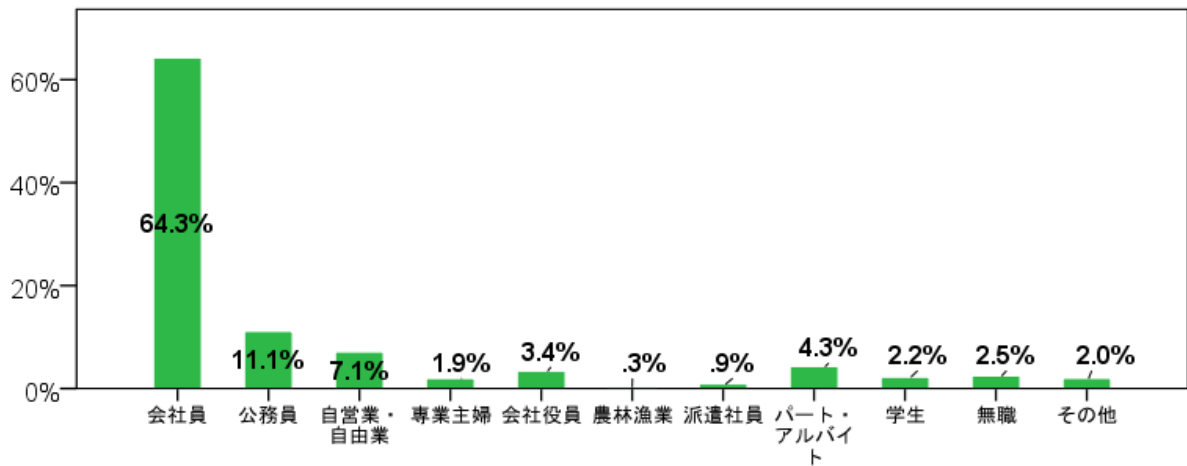


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数 10歳・20歳代	312	7.0	7.9	7.9
30歳代	949	21.2	23.9	31.8
40歳代	1579	35.2	39.8	71.5
50歳代	910	20.3	22.9	94.4
60歳以上	221	4.9	5.6	100.0
合計	3971	88.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	512	11.4		
合計	4483	100.0		

図1-2)、表1-2)は、京都マラソン2014参加者の年齢層を示している。40歳代の参加者が39.8%と最も多く、次いで30歳代と50歳代がほぼ同じ割合を占めていた。また、60歳以上の参加者も約5%みられた。



1-3) 職業

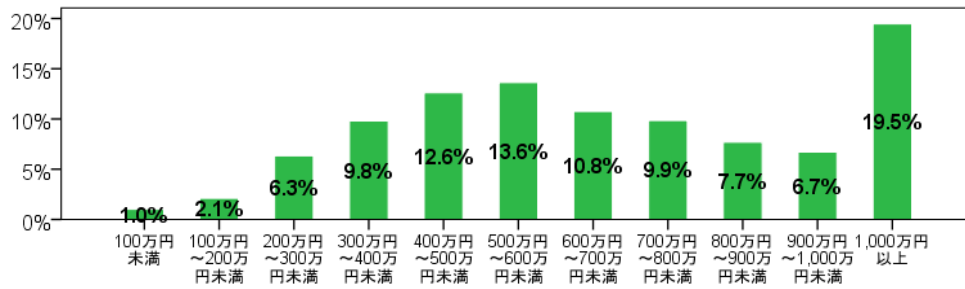


職業

		度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効数	会社員	2544	56.7	64.3	66.3
	公務員	440	9.8	11.1	77.4
	自営業・自由業	283	6.3	7.1	84.5
	専業主婦	77	1.7	1.9	86.5
	会社役員	135	3.0	3.4	89.9
	農林漁業	10	.2	.3	90.1
	派遣社員	35	.8	.9	91.0
	パート・アルバイト	171	3.8	4.3	95.3
	学生	88	2.0	2.2	97.5
	無職	97	2.2	2.5	100.0
	その他	79	1.8	2.0	2.0
合計	3959	88.3	100.0		
欠損値	システム欠損値	524	11.7		
合計		4483	100.0		

図1-3)、表1-3)は、参加者の職業を示している。会社員が64.3%と最も多く、次いで公務員、自営業・自由業となっている。他の職業の割合は5%未満であった。

1-4) 世帯所得

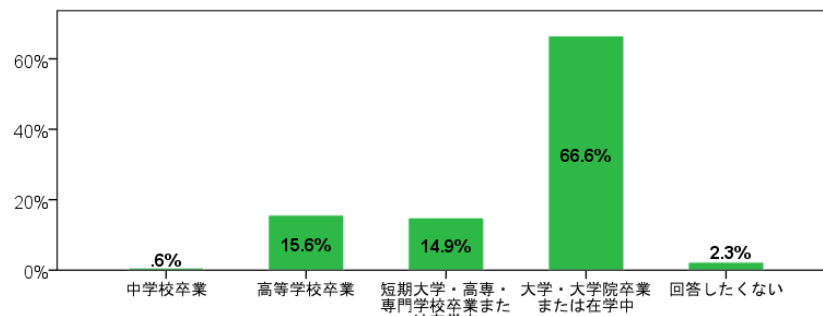


世帯の所得

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数	100万円未満	36	.8	1.0	1.0
	100万円～200万円未満	75	1.7	2.1	3.1
	200万円～300万円未満	225	5.0	6.3	9.5
	300万円～400万円未満	348	7.8	9.8	19.3
	400万円～500万円未満	448	10.0	12.6	31.9
	500万円～600万円未満	484	10.8	13.6	45.5
	600万円～700万円未満	382	8.5	10.8	56.3
	700万円～800万円未満	350	7.8	9.9	66.1
	800万円～900万円未満	273	6.1	7.7	73.8
	900万円～1000万円未満	238	5.3	6.7	80.5
	1000万円以上	691	15.4	19.5	100.0
合計	3550	79.2	100.0		
欠損値	回答したくない	380	8.5		
	システム欠損値	553	12.3		
	合計	933	20.8		
合計	4483	100.0			

図1-4)、表1-4)は、マラソン参加者の世帯所得を示している。1,000万円以上の参加者がおよそ2割と最も多く、次いで500万円前後の参加者が続いた。

1-5) 最終学歴



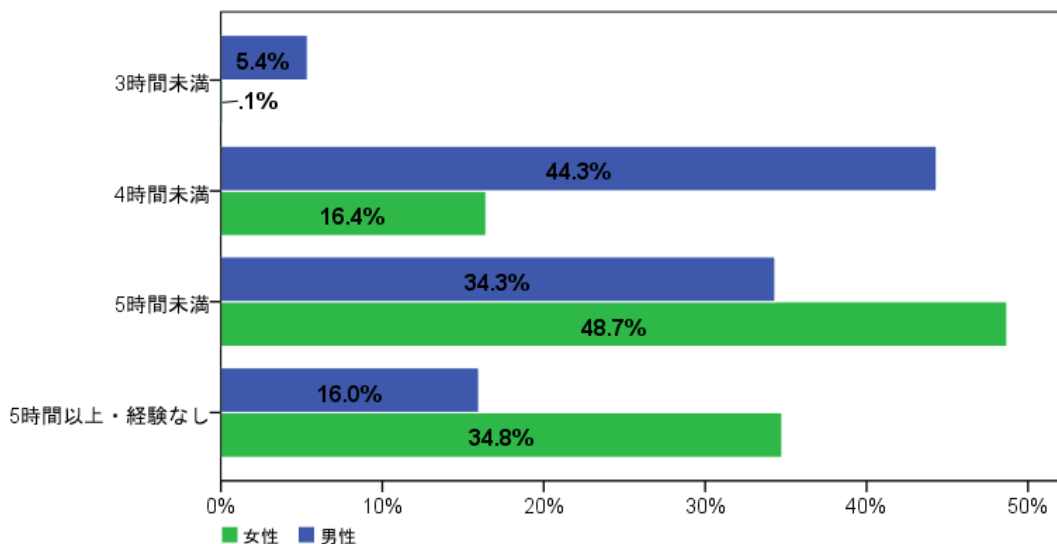
最終学歴

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数	中学校卒業	25	.6	.6	.6
	高等学校卒業	617	13.8	15.6	16.3
	短期大学・高専・専門学校卒業または在学中	588	13.1	14.9	31.2
	大学・大学院卒業または在学中	2627	58.6	66.6	97.7
	回答したくない	90	2.0	2.3	100.0
合計	3947	88.0	100.0		
欠損値	システム欠損値	536	12.0		
	合計	4483	100.0		

図1-5)、表1-5)は、参加者の最終学歴を示している。大学・大学院卒業または在学中が66.6%と最も多い結果となった。

## 2. ランニング活動

### 2-1) フルマラソン完走タイム<自己ベスト>(京都マラソン2014の記録を含む)

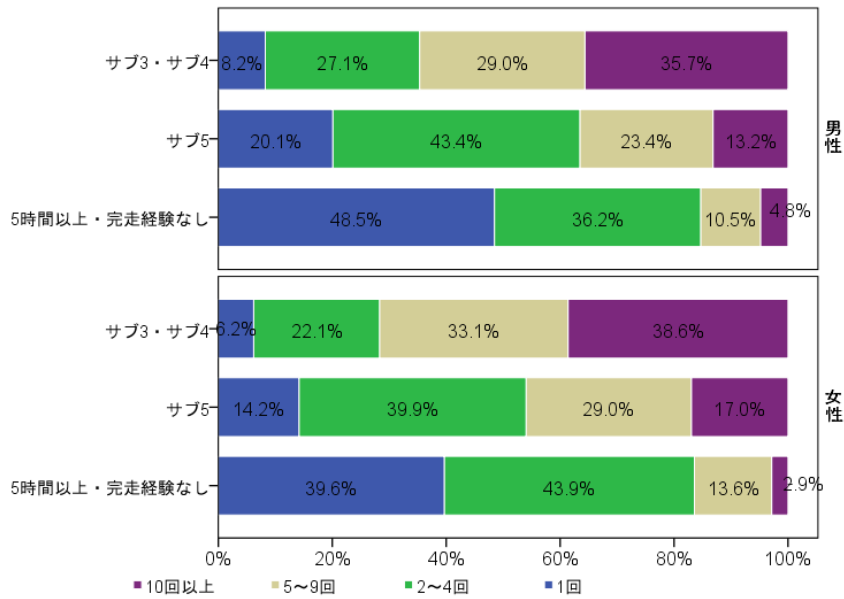


性別と自己ベストのクロス表

	自己ベスト				合計	
	3時間未満	4時間未満	5時間未満	5時間以上・完走経験なし		
性別 男性	度数	167	1382	1070	498	3117
	性別の%	5.4%	44.3%	34.3%	16.0%	
女性	度数	1	145	430	307	883
	性別の%	0.1%	16.4%	48.7%	34.8%	
合計	度数	168	1527	1500	805	4000
	性別の%	4.2%	38.2%	37.5%	20.1%	

表2-1)は男女別の自己ベスト記録別の分布状況である。本調査では、3時間未満のランナーと4時間未満のランナーをサブ3・サブ4、5時間未満のランナーをサブ5、5時間以上・完走経験なしのランナーを5時間以上・完走経験なしとグループ分けしている。男性では、サブ3のランナーが5.4%、サブ4のランナーが44.3%、サブ5のランナーが34.3%、5時間以上・完走経験なしのランナーが16.0%となった。一方女性では、サブ3のランナーが0.1%、サブ4のランナーが16.4%、サブ5のランナーが48.7%、5時間以上・完走経験なしのランナーが34.8%となった。

2-2) フルマラソン完走回数



ランナータイプとフルマラソン完走回数と性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	フルマラソン完走回数				合計
				1回	2~4回	5~9回	10回以上	
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	126	414	443	545	1528
			ランナータイプの%	8.2%	27.1%	29.0%	35.7%	100.0%
	サブ5	度数	212	458	247	139	1056	
		ランナータイプの%	20.1%	43.4%	23.4%	13.2%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	221	165	48	22	456	
		ランナータイプの%	48.5%	36.2%	10.5%	4.8%	100.0%	
合計		度数	559	1037	738	706	3040	
		ランナータイプの%	18.4%	34.1%	24.3%	23.2%	100.0%	
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	9	32	48	56	145
			ランナータイプの%	6.2%	22.1%	33.1%	38.6%	100.0%
	サブ5	度数	60	169	123	72	424	
		ランナータイプの%	14.2%	39.9%	29.0%	17.0%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	111	123	38	8	280	
		ランナータイプの%	39.6%	43.9%	13.6%	2.9%	100.0%	
合計		度数	180	324	209	136	849	
		ランナータイプの%	21.2%	38.2%	24.6%	16.0%	100.0%	
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	135	446	491	601	1673
			ランナータイプの%	8.1%	26.7%	29.3%	35.9%	100.0%
	サブ5	度数	272	627	370	211	1480	
		ランナータイプの%	18.4%	42.4%	25.0%	14.3%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	332	288	86	30	736	
		ランナータイプの%	45.1%	39.1%	11.7%	4.1%	100.0%	
合計		度数	739	1361	947	842	3889	
		ランナータイプの%	19.0%	35.0%	24.4%	21.7%	100.0%	

表2-2)は、ランナータイプとフルマラソン完走回数の特徴を男女別にまとめたものである。合計で2~4回というランナーが最も多く、35.0%であった。また、完走回数が1回、2~4回のランナーでは、サブ3・サブ4よりも5時間以上・完走経験なしの方が多くみられるが、5~9回、10回以上になると5時間以上・完走経験なしよりもサブ3・サブ4の方が多くみられた。これらの結果から、自己ベストが速いほど完走回数も多いという関係があると考えられる。

2-3) 1年間(2013年1月～12月)のランニング大会(5km以上)出場回数

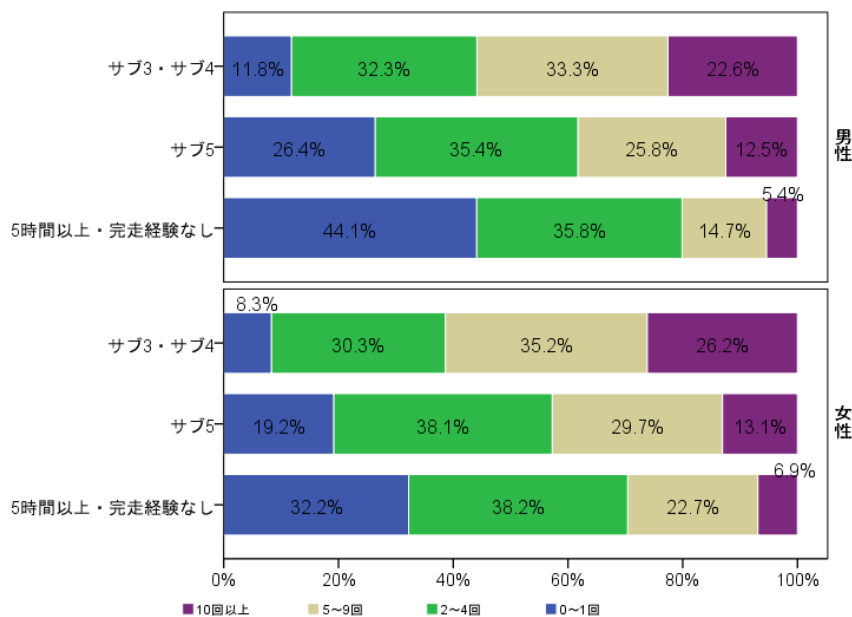
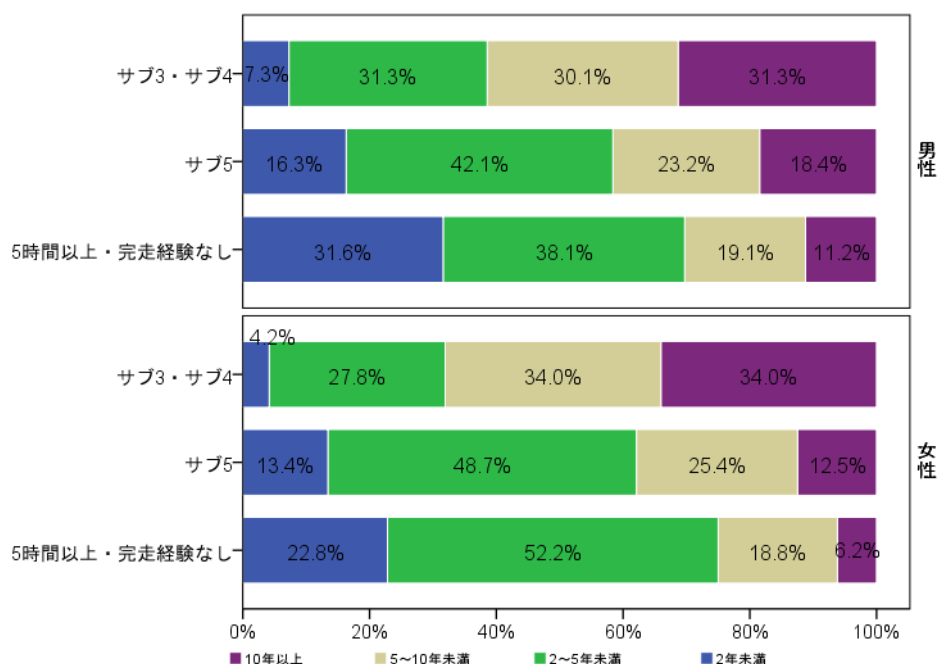


表2-3)は、ランナータイプとランニング大会年間出場回数の特徴を男女別にまとめたものである。合計では2～4回と答えたランナーが34.6%と最も多く、男女ともに自己ベストが速いランナーほど、ランニング大会への参加回数が多いという傾向がみられた。また男女別では、5時間以上・完走経験なしのランナータイプの0～1回と回答したランナーが男性で44.1%、女性で32.2%とやや大きな差がみられた。

## 2-4) ランニング歴(継続年数)

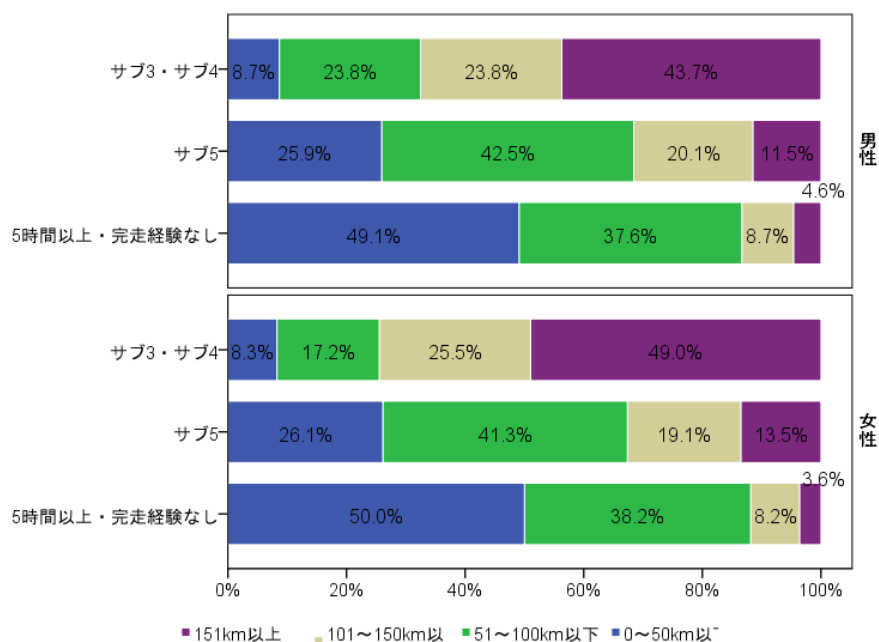


ランナータイプとランニング歴と性別のクロス表

性別	ランナータイプ	ランニング歴	ランニング歴				合計
			2年未満	2~5年未満	5~10年未満	10年以上	
男性	ランナータイプ サブ3・サブ4	度数	111	478	460	478	1527
		ランナータイプの%	7.3%	31.3%	30.1%	31.3%	100.0%
	サブ5	度数	169	436	240	191	1036
		ランナータイプの%	16.3%	42.1%	23.2%	18.4%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	141	170	85	50	446
ランナータイプの%		31.6%	38.1%	19.1%	11.2%	100.0%	
合計	度数	421	1084	785	719	3009	
女性	ランナータイプ サブ3・サブ4	度数	6	40	49	49	144
		ランナータイプの%	4.2%	27.8%	34.0%	34.0%	100.0%
	サブ5	度数	56	203	106	52	417
		ランナータイプの%	13.4%	48.7%	25.4%	12.5%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	63	144	52	17	276
ランナータイプの%		22.8%	52.2%	18.8%	6.2%	100.0%	
合計	度数	125	387	207	118	837	
合計	ランナータイプ サブ3・サブ4	度数	117	518	509	527	1671
		ランナータイプの%	7.0%	31.0%	30.5%	31.5%	100.0%
	サブ5	度数	225	639	346	243	1453
		ランナータイプの%	15.5%	44.0%	23.8%	16.7%	100.0%
	5時間以上・完走経験なし	度数	204	314	137	67	722
ランナータイプの%		28.3%	43.5%	19.0%	9.3%	100.0%	
合計	度数	546	1471	992	837	3846	
	ランナータイプの%	14.2%	38.2%	25.8%	21.8%	100.0%	

表2-4)は、ランナータイプとランニング歴の特徴を男女別にまとめたものである。合計では2~5年未満と答えたランナーが最も多かった。男女ともに自己ベストが速いランナーほど、ランニング歴も長いという傾向がみられた。特に、サブ3・サブ4のランナーでは、10年以上続けている人がおよそ3分の1を占めているという結果になった。ランニング歴が多くなるほど、自己ベストの記録も速くなっていくということが考えられる。

2-5) 月間平均走行距離(1ヶ月あたりに走る距離)

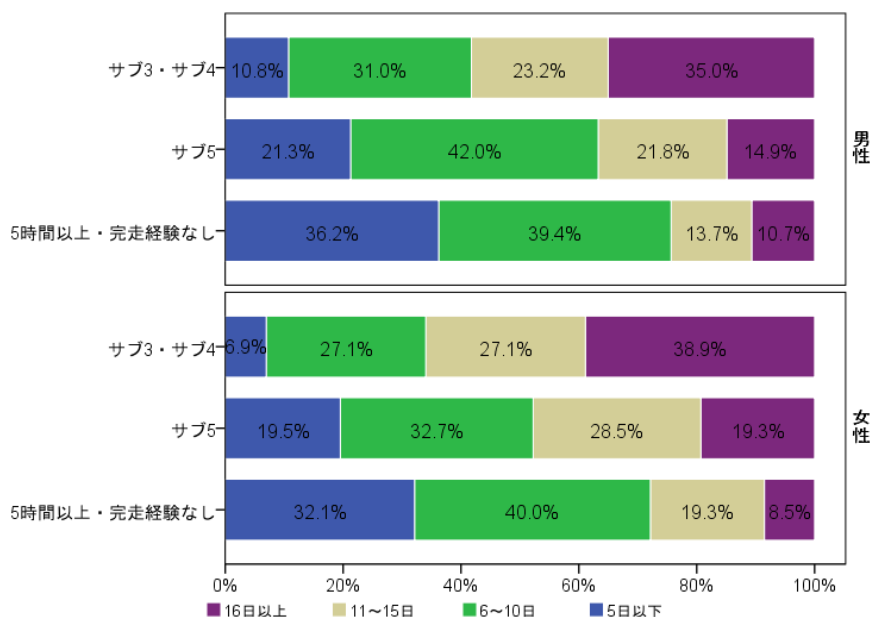


ランナータイプと1ヶ月あたりの走行距離と性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブタイプ	度数	1ヶ月あたりの走行距離				合計
				0~50km以下	51~100km以下	101~150km以下	151km以上	
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	134	367	368	674	1543
		ランナータイプの%	8.7%	23.8%	23.8%	43.7%	100.0%	
	サブ5	度数	275	451	213	122	1061	
		ランナータイプの%	25.9%	42.5%	20.1%	11.5%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	243	186	43	23	495	
ランナータイプの%		49.1%	37.6%	8.7%	4.6%	100.0%		
合計	度数	652	1004	624	819	3099		
合計	ランナータイプの%	21.0%	32.4%	20.1%	26.4%	100.0%		
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	12	25	37	71	145
		ランナータイプの%	8.3%	17.2%	25.5%	49.0%	100.0%	
	サブ5	度数	112	177	82	58	429	
		ランナータイプの%	26.1%	41.3%	19.1%	13.5%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	152	116	25	11	304	
ランナータイプの%		50.0%	38.2%	8.2%	3.6%	100.0%		
合計	度数	276	318	144	140	878		
合計	ランナータイプの%	31.4%	36.2%	16.4%	15.9%	100.0%		
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	146	392	405	745	1688
		ランナータイプの%	8.6%	23.2%	24.0%	44.1%	100.0%	
	サブ5	度数	387	628	295	180	1490	
		ランナータイプの%	26.0%	42.1%	19.8%	12.1%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	395	302	68	34	799	
ランナータイプの%		49.4%	37.8%	8.5%	4.3%	100.0%		
合計	度数	928	1322	768	959	3977		
合計	ランナータイプの%	23.3%	33.2%	19.3%	24.1%	100.0%		

表2-5)は、ランナータイプと1ヶ月あたりの走行距離の特徴を男女別にまとめたものである。合計では、51~100kmと答えたランナーがもっとも多く、全体の約3分の1を占めていた。また、ランナータイプによって差が大きく、サブ3・サブ4のランナーは40%~50%が151km以上走っているのに対し、5時間以上・完走経験なしのランナーのおよそ半分は0から50kmという結果になった。自己ベストが速いランナーほど、よく走っているということが考えられる。

2-6) 月間平均走行頻度(1ヶ月あたりに走る日数)



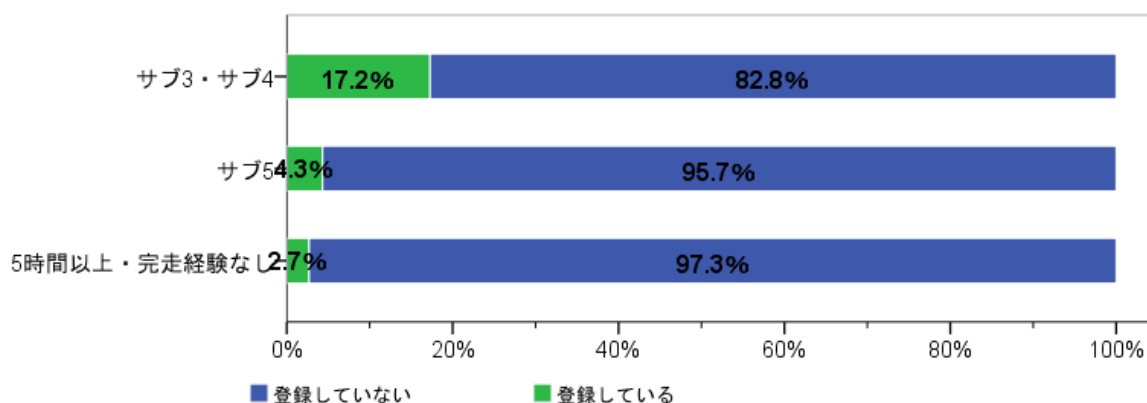
ランナータイプと1ヶ月あたりの走行日数と性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	サブ5	5時間以上・完走経験なし	合計	1ヶ月あたりの走行日数				合計
						5日以下	6~10日	11~15日	16日以上	
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	166	479	358	541	1544		
			ランナータイプの%	10.8%	31.0%	23.2%	35.0%	100.0%		
	サブ5	度数	226	446	232	158	1062			
		ランナータイプの%	21.3%	42.0%	21.8%	14.9%	100.0%			
	5時間以上・完走経験なし	度数	180	196	68	53	497			
		ランナータイプの%	36.2%	39.4%	13.7%	10.7%	100.0%			
合計	度数	572	1121	658	752	3103				
ランナータイプの%	18.4%	36.1%	21.2%	24.2%	100.0%					
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	10	39	39	56	144		
			ランナータイプの%	6.9%	27.1%	27.1%	38.9%	100.0%		
	サブ5	度数	83	139	121	82	425			
		ランナータイプの%	19.5%	32.7%	28.5%	19.3%	100.0%			
	5時間以上・完走経験なし	度数	98	122	59	26	305			
		ランナータイプの%	32.1%	40.0%	19.3%	8.5%	100.0%			
合計	度数	191	300	219	164	874				
ランナータイプの%	21.9%	34.3%	25.1%	18.8%	100.0%					
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	176	518	397	597	1688		
			ランナータイプの%	10.4%	30.7%	23.5%	35.4%	100.0%		
	サブ5	度数	309	585	353	240	1487			
		ランナータイプの%	20.8%	39.3%	23.7%	16.1%	100.0%			
	5時間以上・完走経験なし	度数	278	318	127	79	802			
		ランナータイプの%	34.7%	39.7%	15.8%	9.9%	100.0%			
合計	度数	763	1421	877	916	3977				
ランナータイプの%	19.2%	35.7%	22.1%	23.0%	100.0%					

表2-6)は、ランナータイプと1ヶ月あたりの走行日数の特徴を男女別にまとめたものである。合計で最も多く回答されたのは6~10日であり、35.7%という結果であった。また自己ベストが速くなるほど、ランニングの頻度も多くなるという傾向がみられた。特にサブ3・サブ4のランナーは、およそ4割が16日以上、すなわち2日に1回以上の割合でランニングを行っているということがいえる。



2-7) 陸上競技協会登録



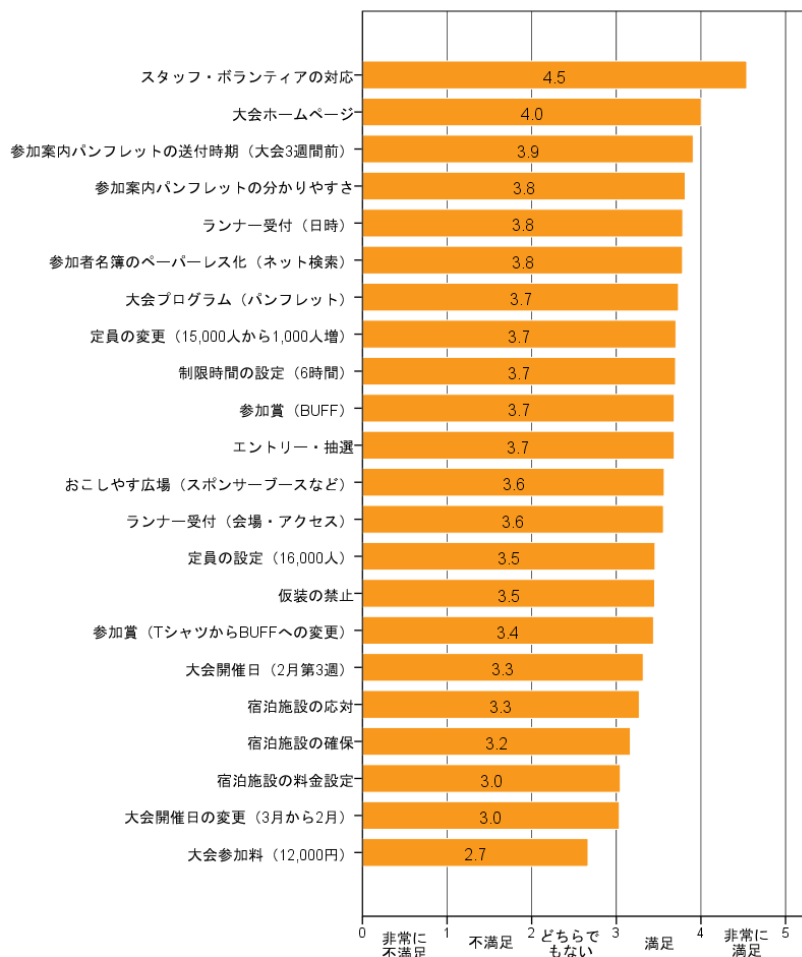
ランナータイプと陸上競技協会への登録のクロス表

ランナータイプ	陸上競技協会への登録	合計
サブ3・サブ4	度数	1890
	ランナータイプの%	100.0%
サブ5	度数	1675
	ランナータイプの%	100.0%
5時間以上・完走経験なし	度数	897
	ランナータイプの%	100.0%
合計	度数	4462
	ランナータイプの%	100.0%

表2-7)は、ランナータイプと陸上競技協会への登録についての度数分布表である。登録していないランナーが9割前後となっている。また、登録しているランナーは、サブ3・サブ4に属するランナーに多くみられた。

### 3. イベント満足度・評価

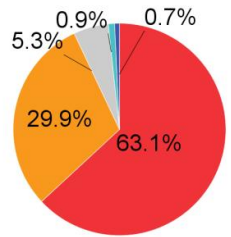
#### 3-1) 大会全体



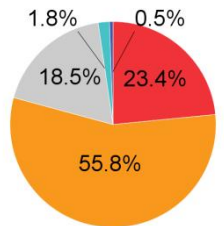
	度数	平均値	標準偏差
スタッフ・ボランティアの対応	4463	4.5	.708
大会ホームページ	4465	4.0	.734
参加案内パンフレットの送付時期 (大会3週間前)	4472	3.9	.774
参加案内パンフレットの分かりやすさ	4471	3.8	.792
ランナー受付 (日時)	4466	3.8	.924
参加者名簿のペーパーレス化 (ネット検索)	4466	3.8	1.002
大会プログラム (パンフレット)	4458	3.7	.787
制限時間の設定 (6時間)	4431	3.7	.911
定員の変更 (15,000人から1,000人増)	4465	3.7	.926
参加賞 (BUFF)	4458	3.7	1.164
エントリー・抽選	4450	3.7	.914
おこしやす広場 (スポンサーブースなど)	4465	3.6	.983
ランナー受付 (会場・アクセス)	4470	3.6	1.027
定員の設定 (16,000人)	4470	3.5	.946
仮装の禁止	4457	3.4	1.133
参加賞 (TシャツからBUFFへの変更)	4459	3.4	1.279
大会開催日 (2月第3週)	4483	3.3	1.072
宿泊施設の対応	4363	3.3	.654
宿泊施設の確保	4366	3.2	.664
宿泊施設の料金設定	4375	3.0	.667
大会開催日の変更 (3月から2月)	4453	3.0	1.097
大会参加料 (12,000円)	4466	2.7	.991

表3-1)は、大会全体に関する満足度についてまとめたものである。スタッフ・ボランティアの対応、大会ホームページ、参加案内パンフレットの送付時期などの評価が高かった一方、大会参加料や大会開催日の変更、宿泊施設の料金設定などについては、相対的に評価が低かった。

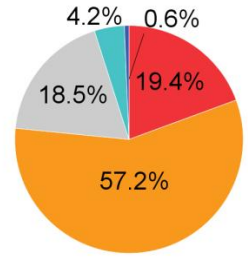
スタッフ・ボランティアの対応



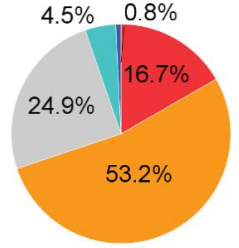
大会ホームページ



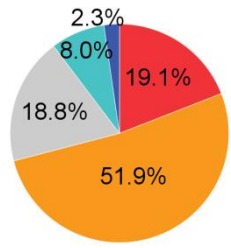
参加案内パンフレットの送付時期（大会3週間前）



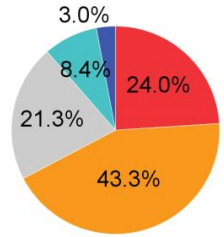
参加案内パンフレットの分かりやすさ



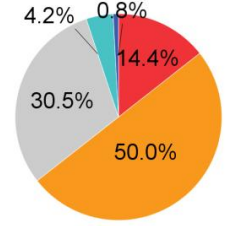
ランナー受付（日時）



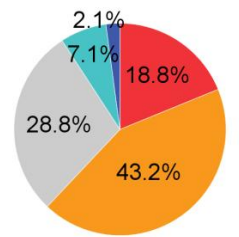
参加者名簿のペーパーレス化（ネット検索）



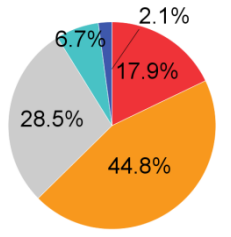
大会プログラム（パンフレット）



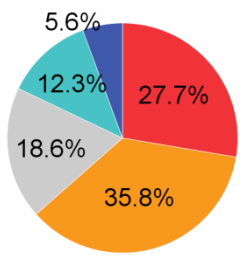
定員の変更（15,000人から1,000人増）



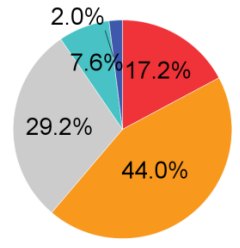
制限時間の設定（6時間）



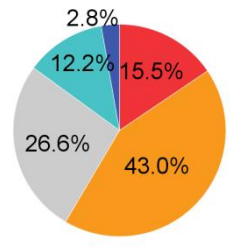
参加賞（BUFF）



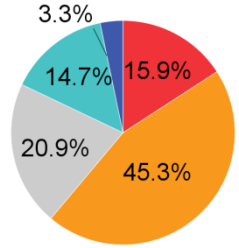
エントリー・抽選



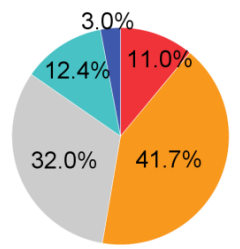
おこしやす広場（スポンサーブースなど）



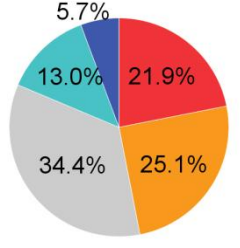
ランナー受付（会場・アクセス）



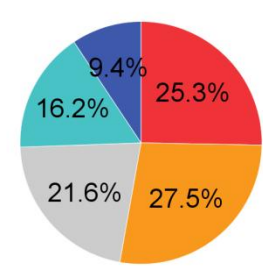
定員の設定（16,000人）



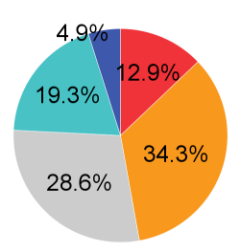
仮装の禁止



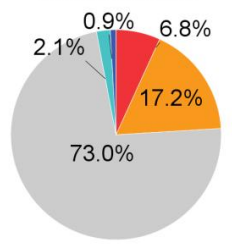
参加賞（TシャツからBUFFへの変更）



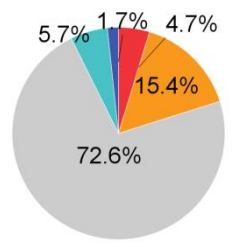
大会開催日（2月第3週）



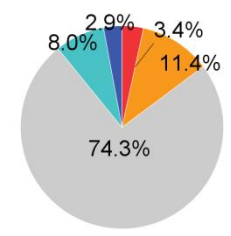
宿泊施設の対応



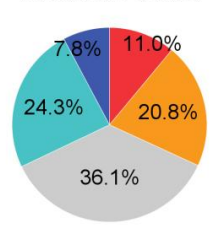
宿泊施設の確保



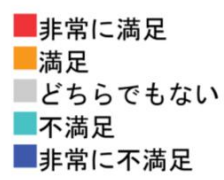
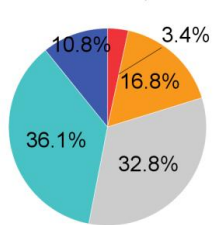
宿泊施設の料金設定



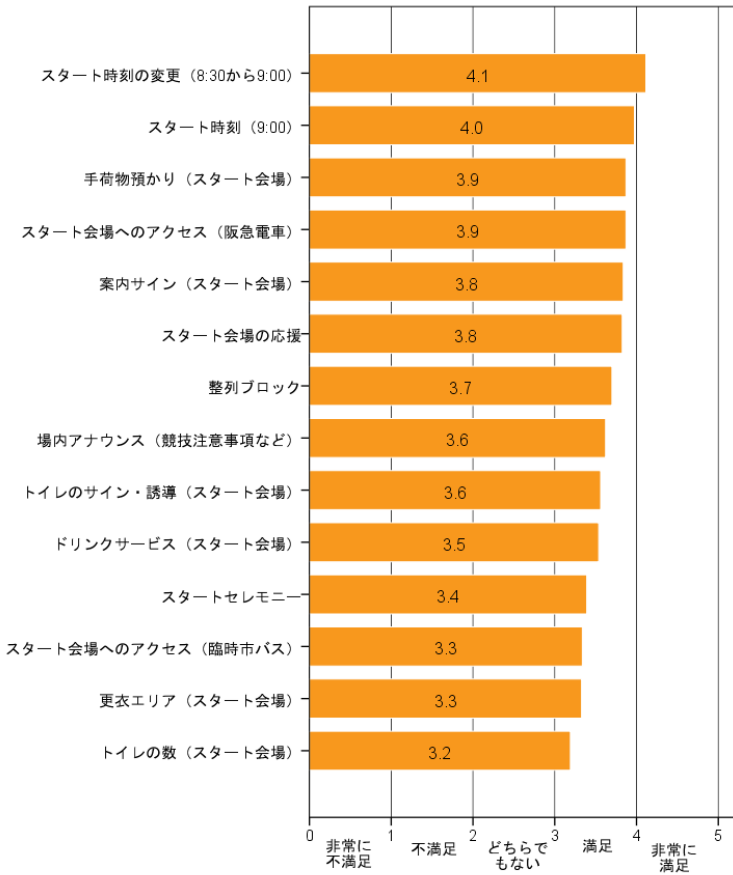
大会開催日の変更



大会参加料（12,000円）



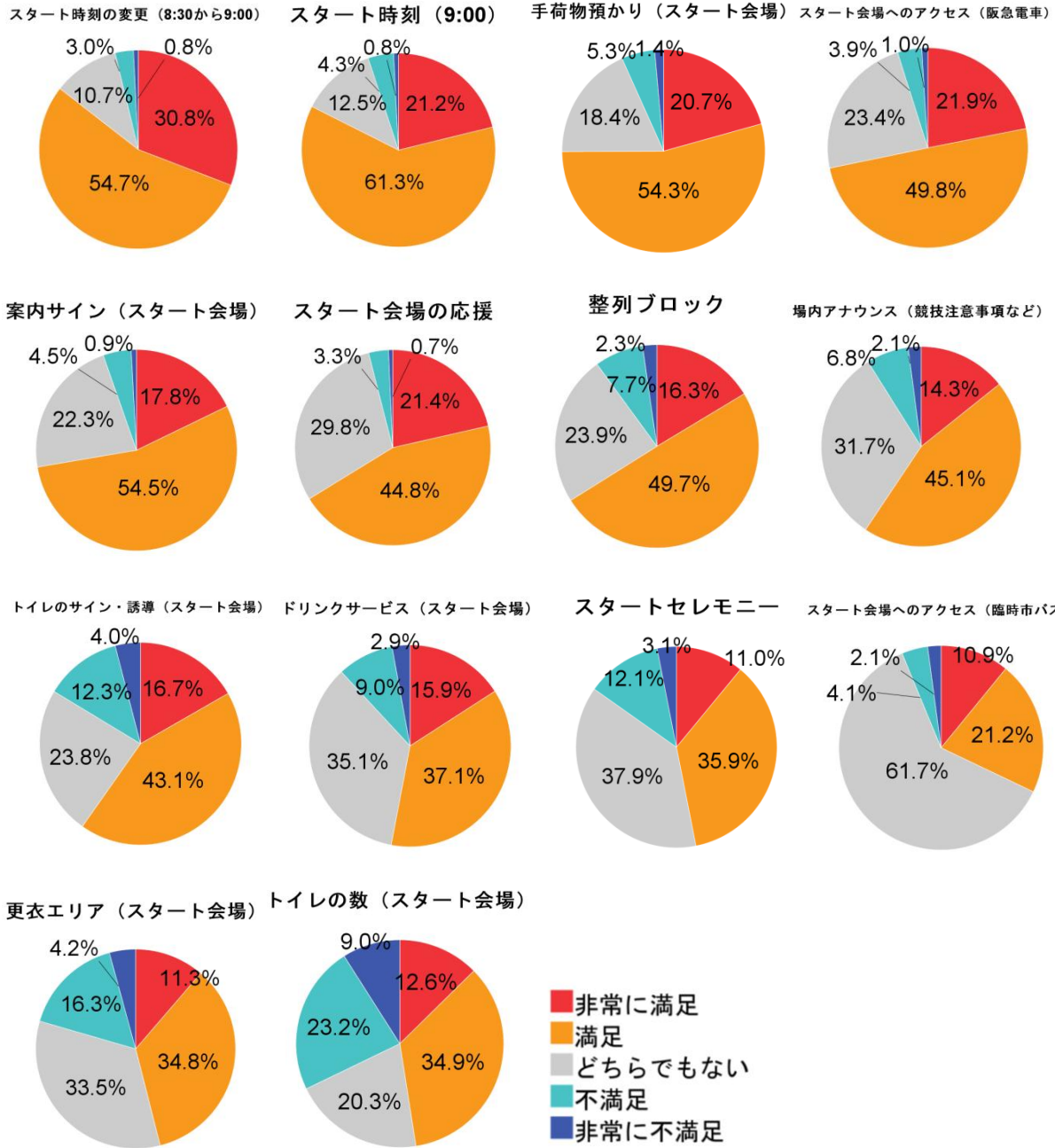
## 2) スタート



スタートの満足との平均値

	度数	平均値	標準偏差
スタート時刻の変更 (8:30から9:00)	4465	4.1	.769
スタート時刻 (9:00)	4483	4.0	.761
スタート会場へのアクセス (阪急電車)	4434	3.9	.826
手荷物預かり (スタート会場)	4471	3.9	.845
案内サイン (スタート会場)	4468	3.8	.796
スタート会場の応援	4463	3.8	.823
整列ブロック	4465	3.7	.910
場内アナウンス (競技注意事項など)	4475	3.6	.884
トイレのサイン・誘導 (スタート会場)	4471	3.6	1.035
ドリンクサービス (スタート会場)	4468	3.5	.959
スタートセレモニー	4472	3.4	.942
スタート会場へのアクセス (臨時市バス)	4367	3.3	.808
更衣エリア (スタート会場)	4463	3.3	1.013
トイレの数 (スタート会場)	4474	3.2	1.188

表3-2)は、スタートに関する満足度についてまとめたものである。スタート時刻や手荷物預かり、スタート会場へのアクセス (阪急電車) などの評価が高かった一方、トイレの数、更衣エリア、スタート会場へのアクセス (臨時市バス) などについては、相対的に評価が低かった。



### 3-3) コース

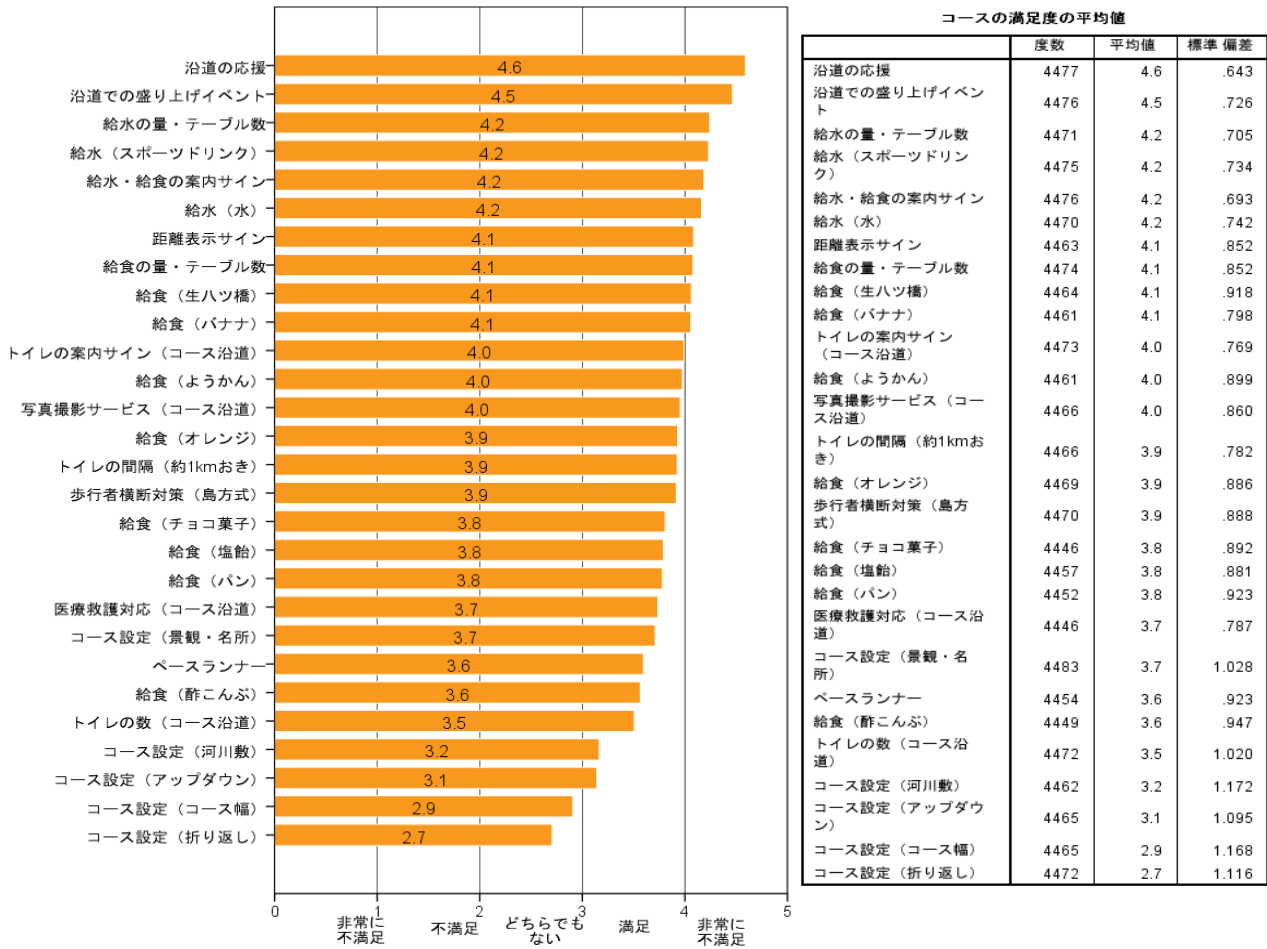
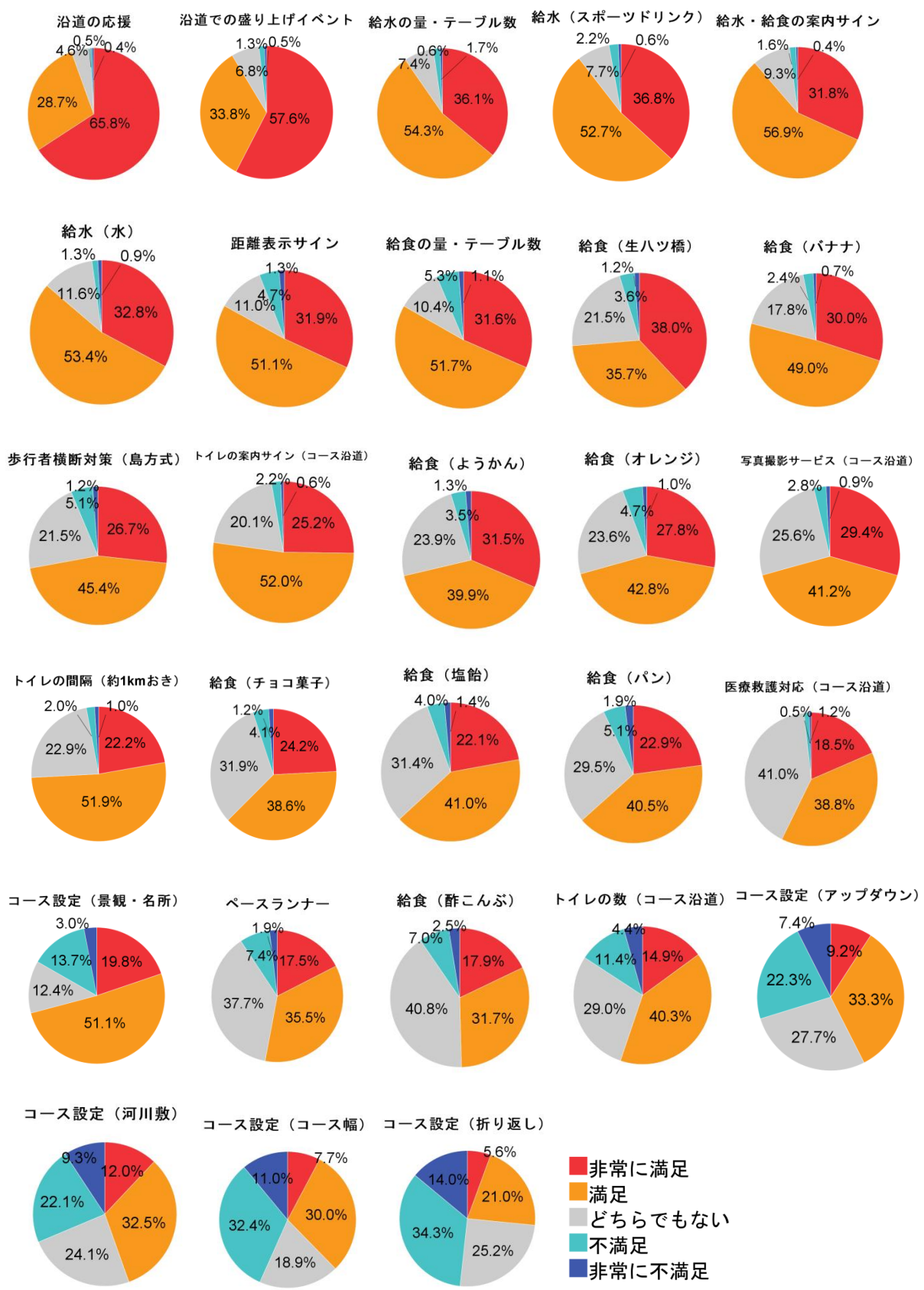


表3-3)は、コースに関する満足度についてまとめたものである。沿道の応援、沿道での盛り上げイベントなどの評価が高かった一方、折り返しやコース幅などについては、相対的に評価が低かった。





### 3-4) フィニッシュ

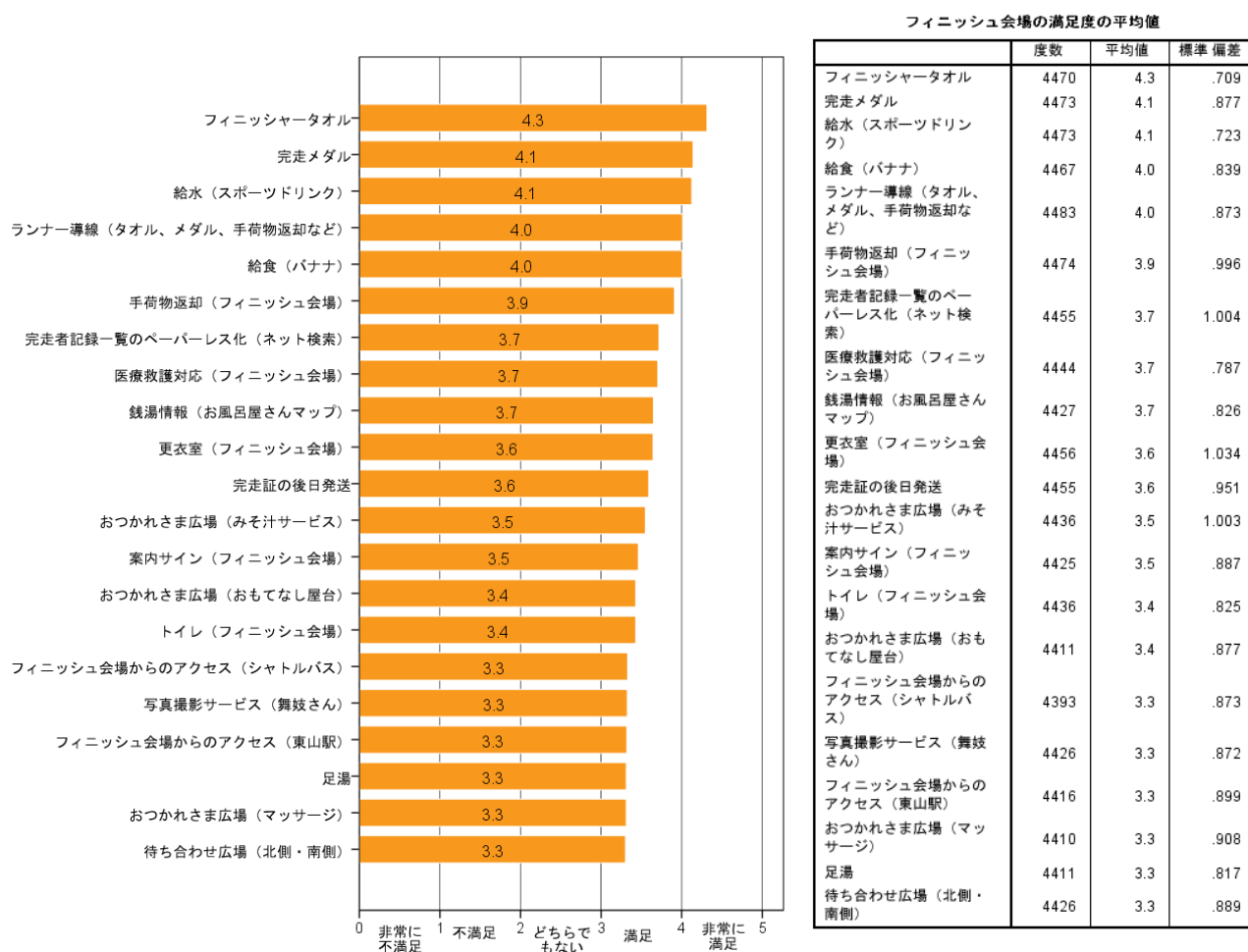
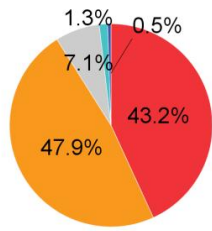


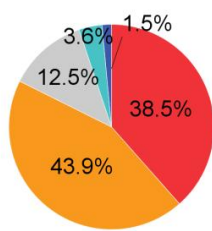
表 3-4)は、フィニッシュに関する満足度についてまとめたものである。フィニッシャータオルや完走メダル、給水 (スポーツドリンク) などの評価が高かった一方、待ち合わせ広場やおつかれさま広場などについては、相対的に評価が低かった。



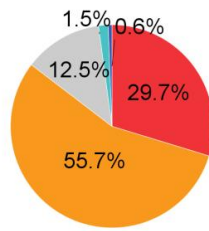
フィニッシャータオル



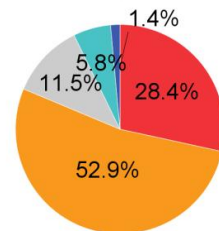
完走メダル



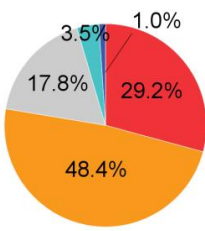
給水 (スポーツドリンク)



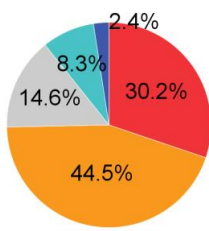
ランナー導線 (タオル、メダル、手荷物返却)



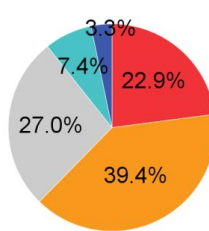
給食 (バナナ)



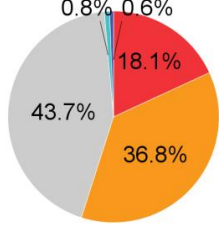
手荷物返却 (フィニッシュ会場)



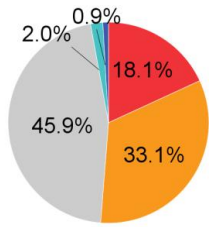
完走者記録一覧のペーパーレス化 (ネット検索)



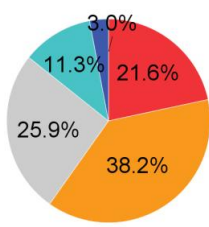
医療救護対応 (フィニッシュ会場)



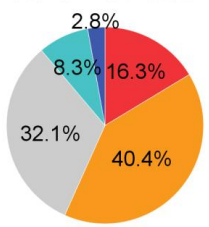
銭湯情報 (お風呂屋さんマップ)



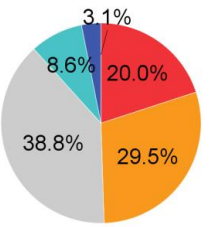
更衣室 (フィニッシュ会場)



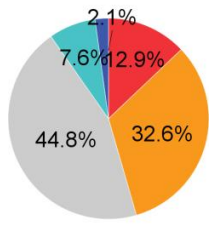
完走証の後日発送



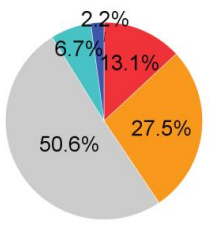
おつかれさま広場 (みそ汁サービス)



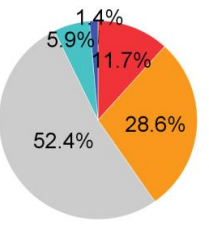
案内サイン (フィニッシュ会場)



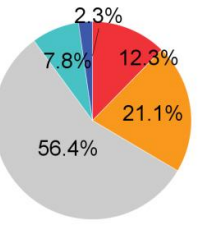
おつかれさま広場 (おもてなし屋台)



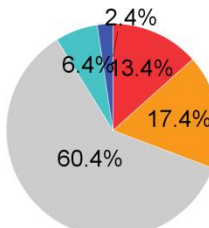
トイレ (フィニッシュ会場)



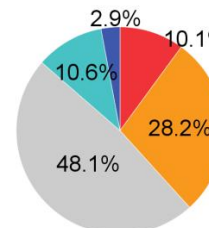
フィニッシュ会場からのアクセス (シャトルバス)



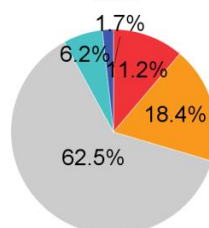
写真撮影サービス (舞妓さん)



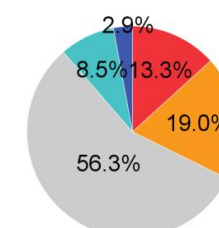
フィニッシュ会場からのアクセス (東山駅)



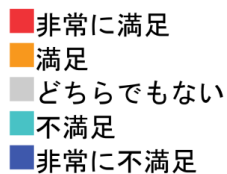
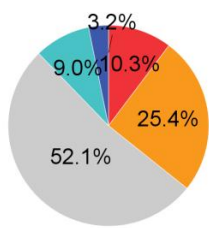
足湯



おつかれさま広場 (マッサージ)

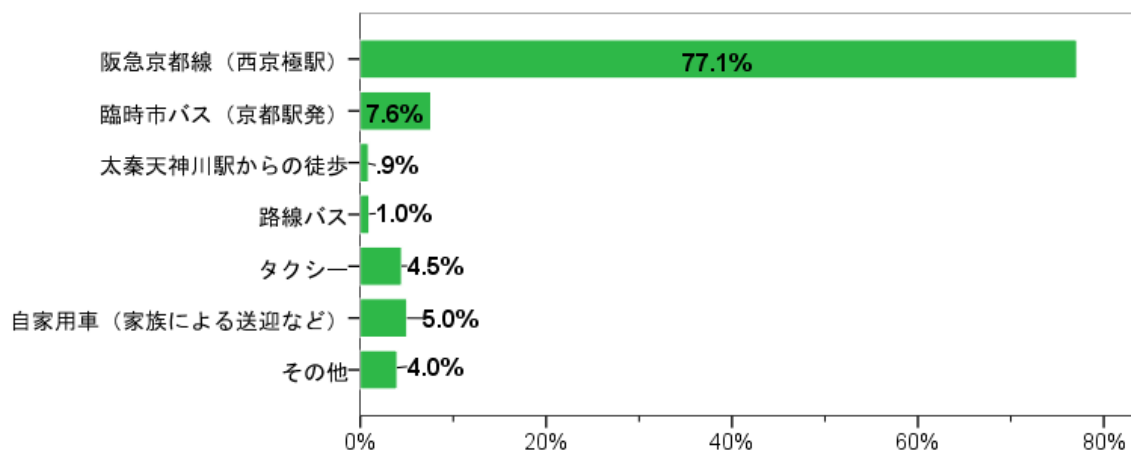


待ち合わせ広場 (北側・南側)



### 3-5) スタート会場

#### (1) スタート会場への最終交通手段

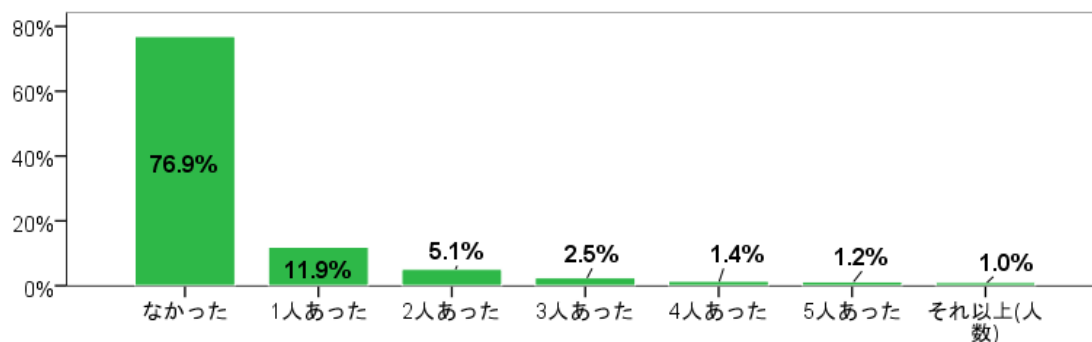


スタート会場への最終交通手段

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数				
阪急京都線 (西京極駅)	3406	76.0	77.1	77.1
臨時市バス (京都駅発)	336	7.5	7.6	84.7
自家用車 (家族による送迎など)	222	5.0	5.0	96.0
タクシー	197	4.4	4.5	91.0
路線バス	43	1.0	1.0	86.6
太秦天神川駅からの徒歩	39	.9	.9	85.6
その他	175	3.9	4.0	100.0
合計	4418	98.6	100.0	
欠損値				
システム欠損値	65	1.4		
合計	4483	100.0		

表3-5)(1)は、スタート会場への最終交通手段の度数分布表である。阪急京都線 (西京極駅) の利用が77.1%を占め、臨時市バス (京都駅発) が7.6%という結果であった。

(2) スタート会場への応援

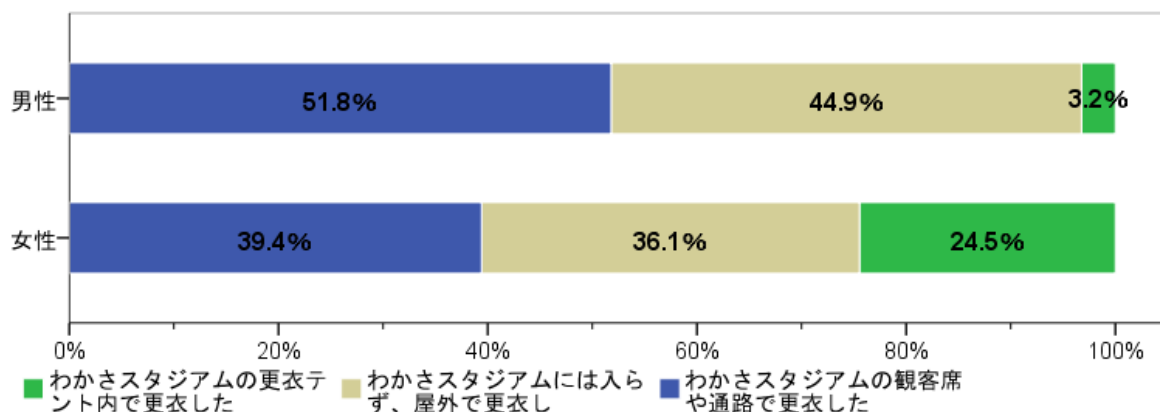


スタート会場への応援者

		度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効数	なかった	3398	75.8	76.9	77.9
	1人あった	525	11.7	11.9	89.8
	2人あった	224	5.0	5.1	94.9
	3人あった	110	2.5	2.5	97.4
	4人あった	63	1.4	1.4	98.8
	5人あった	54	1.2	1.2	100.0
	それ以上(人数)	44	1.0	1.0	1.0
合計		4418	98.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	65	1.4		
合計		4483	100.0		

表3-5)(2)は、スタート会場への応援の度数分布表である。76.9%のランナーが応援がなかったと回答し、1人あったが11.9%、2人あったが5.1%という結果であった。

(3) スタート会場の更衣エリア利用



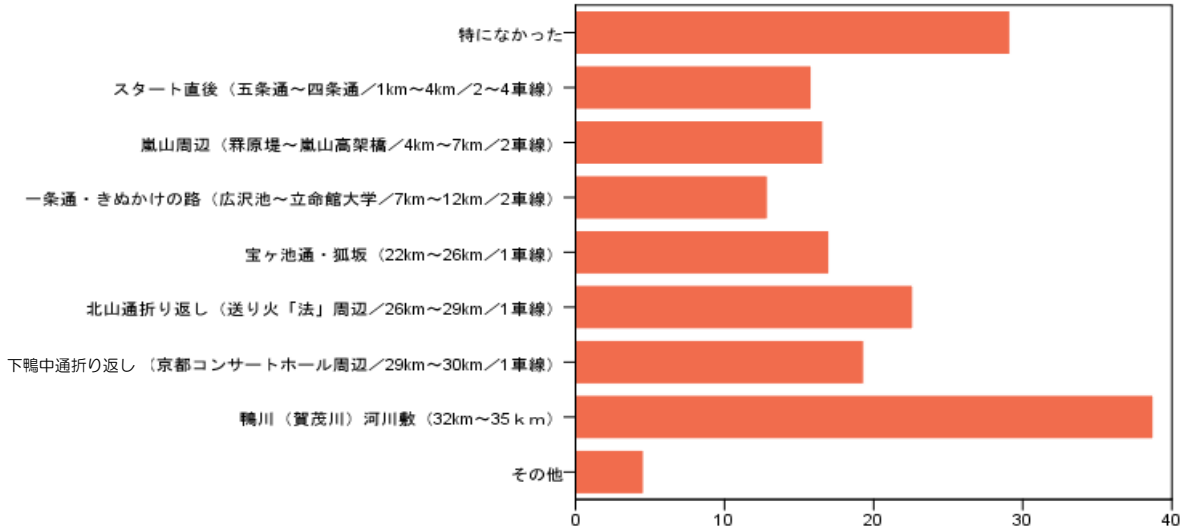
性別とスタート会場の更衣エリア利用のクロス表

			スタート会場の更衣エリア利用			合計
			わかさスタジアムの観客席や通路で更衣した	わかさスタジアムには入らず、屋外で更衣した	わかさスタジアムの更衣テント内で更衣した	
性別	男性	度数	1615	1401	101	3117
		性別の%	51.8%	44.9%	3.2%	100.0%
	女性	度数	348	319	216	883
		性別の%	39.4%	36.1%	24.5%	100.0%
合計		度数	1963	1720	317	4000
		性別の%	49.1%	43.0%	7.9%	100.0%

表3-5) (3)は、スタート会場の更衣エリア利用の度数分布表である。わかさスタジアムの更衣テント内で更衣したランナーは、男性は3.2%のみであったのに対し、女性は24.5%あった。

3-6) コース設定

走りにくいコース（複数回答）の度数



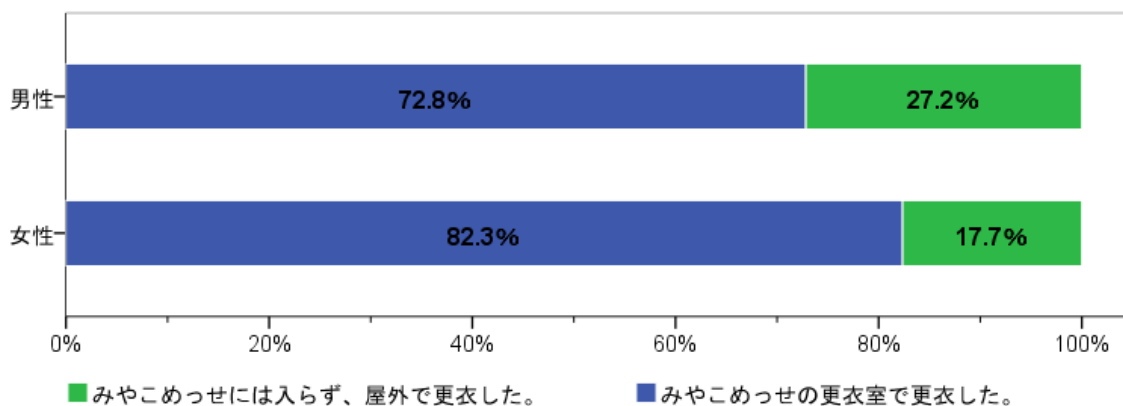
ランナータイプと走りにくいコース、性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4 サブ5 5時間以上・完走経験なし	度数 総和の%	特になかった	スタート直後（五条通～四条通／1km～4km／2～4車線）	嵐山周辺（群原堤～嵐山高架橋／4km～7km／2車線）	一条通・きぬかけの路（広沢池～立命館大学／7km～12km／2車線）	宝ヶ池通・狐坂（22km～26km／1車線）	北山通折り返し（送り火「法」周辺／26km～29km／1車線）	下鴨中通折り返し（京都コンサートホール周辺／29km～30km／1車線）	鴨川（賀茂川）河川敷（32km～35 km）	その他
				度数 総和の%	度数 総和の%	度数 総和の%	度数 総和の%	度数 総和の%	度数 総和の%	度数 総和の%	度数 総和の%	
男性	ランナータイプ サブ3・サブ4	度数	501	269	219	162	235	317	251	622	55	
		総和の%	56.00	55.10	40.20	37.70	42.20	42.00	39.70	49.60	41.70	
	サブ5	度数	218	178	259	201	237	331	270	483	65	
		総和の%	24.40	36.50	47.50	46.70	42.50	43.80	42.70	38.50	49.20	
	5時間以上・完走経験なし	度数	176	41	67	67	85	107	111	149	12	
総和の%		19.70	8.40	12.30	15.60	15.30	14.20	17.60	11.90	9.10		
合計		度数	895	488	545	430	557	755	632	1254	132	
		総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
女性	ランナータイプ サブ3・サブ4	度数	43	43	23	18	26	32	34	59	7	
		総和の%	15.90	28.70	16.80	18.20	16.80	16.40	18.90	17.20	12.30	
	サブ5	度数	109	78	82	51	95	107	99	192	33	
		総和の%	40.40	52.00	59.90	51.50	61.30	54.90	55.00	56.00	57.90	
	5時間以上・完走経験なし	度数	118	29	32	30	34	56	47	92	17	
総和の%		43.70	19.30	23.40	30.30	21.90	28.70	26.10	26.80	29.80		
合計		度数	270	150	137	99	155	195	180	343	57	
		総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
合計	ランナータイプ サブ3・サブ4	度数	544	312	242	180	261	349	285	681	62	
		総和の%	46.70	48.90	35.50	34.00	36.70	36.70	35.10	42.60	32.80	
	サブ5	度数	327	256	341	252	332	438	369	675	98	
		総和の%	28.10	40.10	50.00	47.60	46.60	46.10	45.40	42.30	51.90	
	5時間以上・完走経験なし	度数	294	70	99	97	119	163	158	241	29	
総和の%		25.20	11.00	14.50	18.30	16.70	17.20	19.50	15.10	15.30		
合計		度数	1165	638	682	529	712	950	812	1597	189	
		総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

表3-6は、コースの中で、走りにくかったと感じた箇所があったかについて、まとめたものである。約3割のランナーが、特に走りにくかったところはなかったと回答しているが、これは、それ以外の約7割のランナーは走りにくかったと感じたことを意味している。特に指摘が多かったのは、鴨川（賀茂川）河川敷であった。

### 3-7) フィニッシュ会場

#### (1) フィニッシュ会場の更衣エリア利用

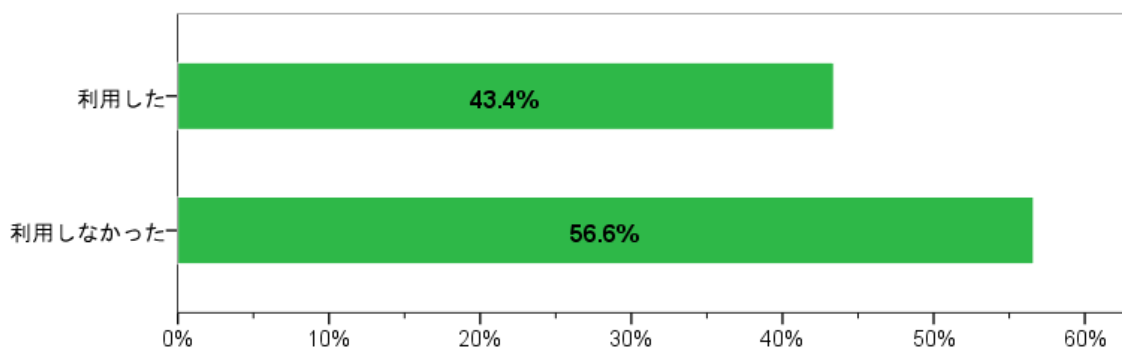


性別とフィニッシュ会場の更衣エリア利用のクロス表

			フィニッシュ会場の更衣エリア利用		合計
			みよこめっせの更衣室で更衣した。	みよこめっせには入らず、屋外で更衣した。	
性別	男性	度数	2269	848	3117
		性別の%	72.8%	27.2%	100.0%
	女性	度数	727	156	883
		性別の%	82.3%	17.7%	100.0%
合計		度数	2996	1004	4000
		性別の%	74.9%	25.1%	100.0%

表3-7)(1)は、フィニッシュ会場の更衣エリア利用の度数分布表である。みよこめっせの更衣室で更衣したランナーは、男性は72.8%のみであったの対し、女性は82.3%あった。

(2) おつかれさま広場(みやこめっせ3階)の利用

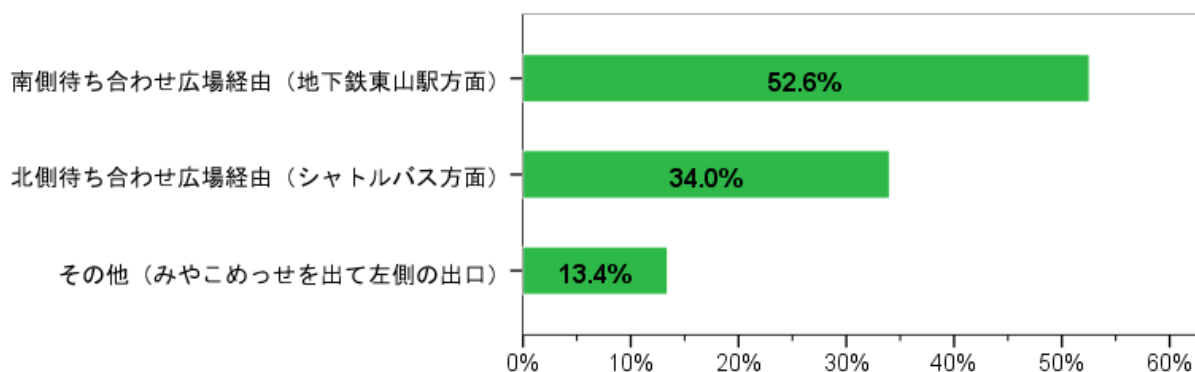


おつかれさま広場 (みやこめっせ3階) 利用

		度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効数	利用した	1917	42.8	43.4	43.4
	利用しなかった	2501	55.8	56.6	100.0
	合計	4418	98.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	65	1.4		
	合計	4483	100.0		

表3-7(2)は、おつかれさま広場(みやこめっせ3階)の利用に関する度数分布表である。広場を利用したランナーは43.4%という結果であった。

(3)フィニッシュ会場からの帰りのルート



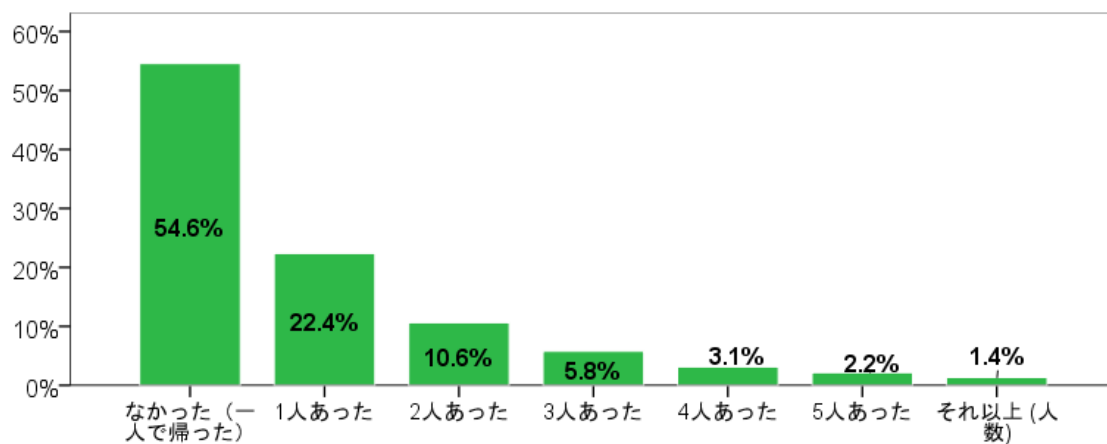
フィニッシュ会場からの帰りルート

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数				
南側待ち合わせ広場経由 （地下鉄東山駅方面）	2322	51.8	52.6	100.0
北側待ち合わせ広場経由 （シャトルバス方面）	1503	33.5	34.0	47.4
その他（みやこめッセを 出て左側の出口）	593	13.2	13.4	13.4
合計	4418	98.6	100.0	
欠損値				
システム欠損値	65	1.4		
合計	4483	100.0		

表3-7(3)は、フィニッシュ会場からの帰りルートの度数分布表である。南側待ち合わせ広場経由(地下鉄東山駅方面)が最も多く52.6%を占め、北側待ち合わせ広場経由(シャトルバス方面)は34.0%、その他(みやこめッセを出て左側の出口)は13.4%であった。



(4)フィニッシュ会場での待ち合わせ

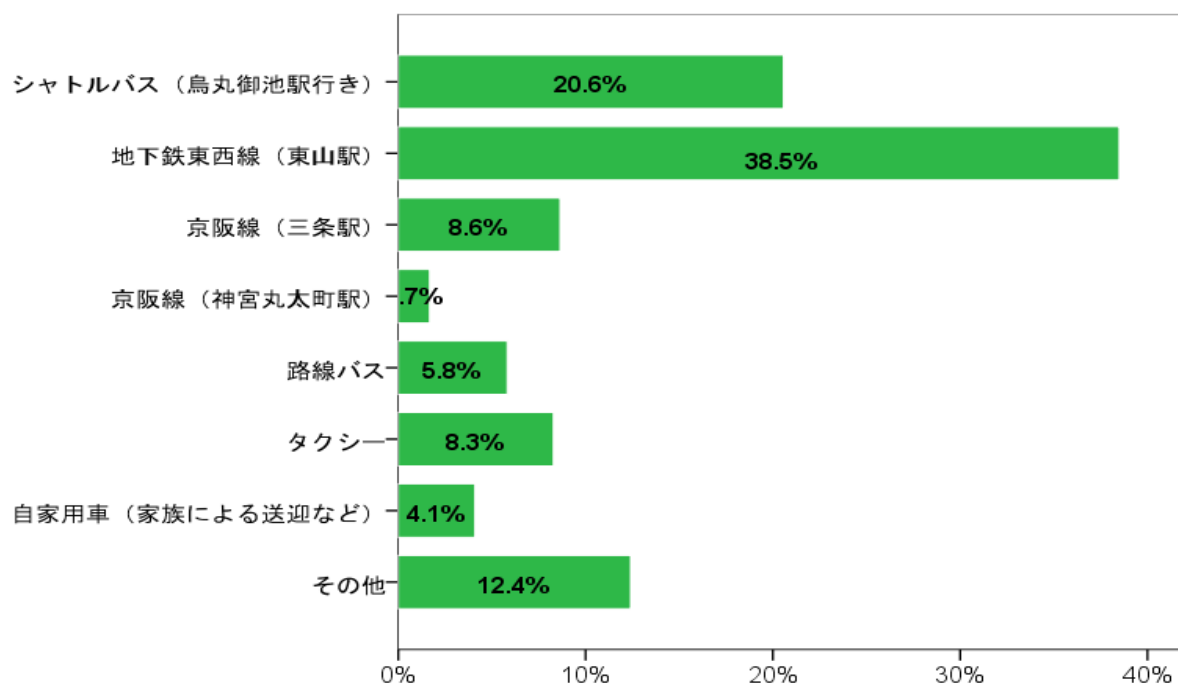


フィニッシュ会場での待ち合わせ

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数	なかった(一人で帰った)	2411	53.8	54.6	55.9
	1人あった	989	22.1	22.4	78.3
	2人あった	469	10.5	10.6	88.9
	3人あった	256	5.7	5.8	94.7
	4人あった	138	3.1	3.1	97.8
	5人あった	95	2.1	2.2	100.0
	それ以上(人数)	60	1.3	1.4	1.4
	合計	4418	98.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	65	1.4		
合計		4483	100.0		

表3-7(4)は、フィニッシュ会場での待ち合わせの度数分布表である。54.6%のランナーが待ち合わせがなく、一人で帰ったと回答し、1人あったが22.4%、2人あったが10.6%という結果であった。

(5)フィニッシュ会場(平安神宮前)からの最初の交通手段

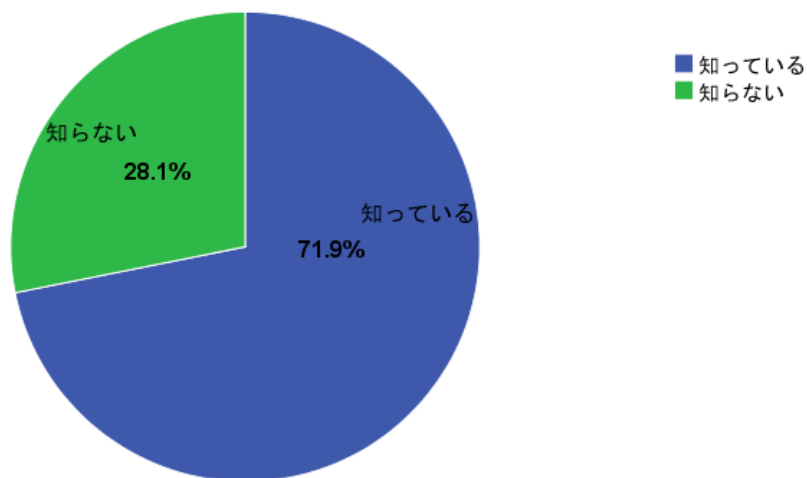


フィニッシュ会場 (平安神宮前) からの最初の交通手段

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数				
地下鉄東西線 (東山駅)	1701	37.9	38.5	59.1
シャトルバス (烏丸御池駅行き)	909	20.3	20.6	20.6
京阪線 (三条駅)	382	8.5	8.6	67.7
タクシー	366	8.2	8.3	83.5
路線バス	257	5.7	5.8	75.2
自家用車 (家族による送迎など)	181	4.0	4.1	87.6
京阪線 (神宮丸太町駅)	74	1.7	1.7	69.4
その他	548	12.2	12.4	100.0
合計	4418	98.6	100.0	
欠損値				
システム欠損値	65	1.4		
合計	4483	100.0		

表3-7(5)は、フィニッシュ会場からの最初の交通手段の度数分布表である。地下鉄東西線（東山駅）が最も多く38.5%を占め、シャトルバス（烏丸御池駅行き）が20.6%と次に多かった。

3-8) 京都マラソン2015コース変更の検討



京都マラソン2015コース変更の検討

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数				
知っている	3175	70.8	71.9	71.9
知らない	1243	27.7	28.1	100.0
合計	4418	98.6	100.0	
欠損値				
システム欠損値	65	1.4		
合計	4483	100.0		

表3-8)は、京都マラソン2015のコース変更の検討について認知度をまとめたものである。71.9%のランナーが、コース変更の検討を知っていると回答した。

3-9) コース変更を知った媒体

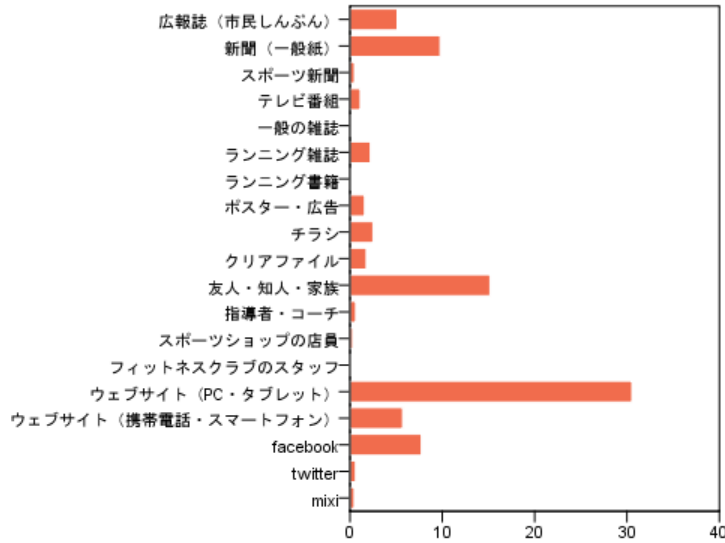


表 3-9)は、コース変更を知った媒体の度数分布表である。ウェブサイト (PC・タブレット) が最も多く、次に、友人・知人・家族、新聞 (一般紙) の順となった。

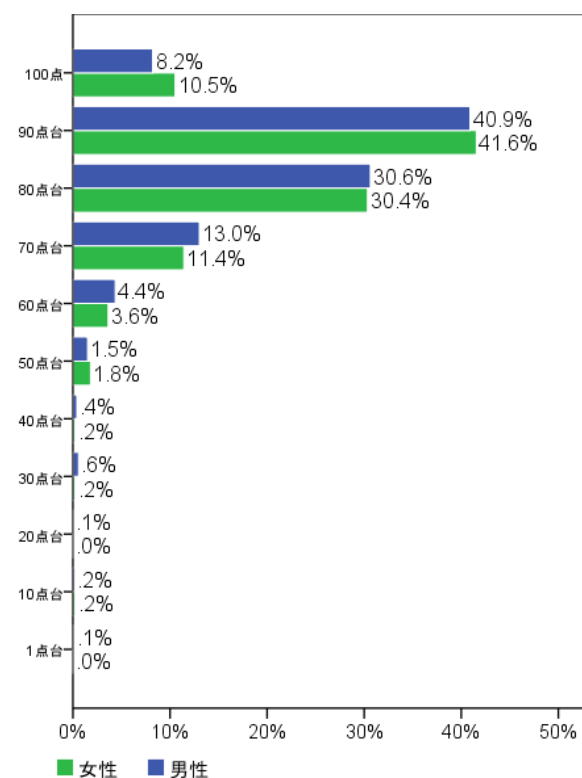
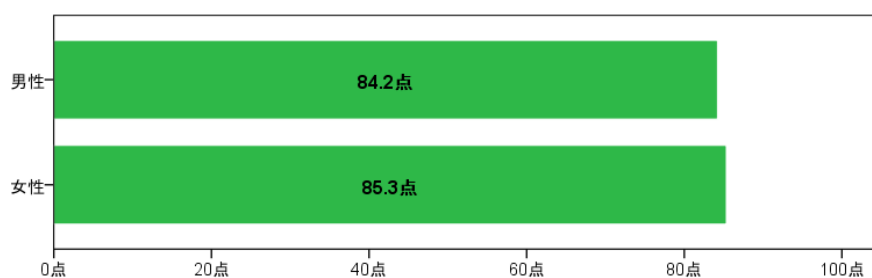
ランナータイプとコース変更、性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	サブ5	5時間以上・完走経験なし	合計	広報誌 (市民しんぶん)	新聞 (一般紙)	スポーツ新聞	テレビ番組	一般の雑誌	ランニング雑誌	ランニング書籍	ポスター・広告	チラシ	クリアファイル
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	57	147	11	18	3	39	1	21	37	19		
		総和の%	35.80	45.10	57.90	42.90	75.00	54.90	25.00	43.80	49.30	40.40			
	サブ5	度数	79	113	8	14	1	28	3	18	29	18			
		総和の%	49.70	34.70	42.10	33.30	25.00	39.40	75.00	37.50	38.70	38.30			
	5時間以上・完走経験なし	度数	23	66	0	10	0	4	0	9	9	10			
総和の%		14.50	20.20	.00	23.80	.00	5.60	.00	18.80	12.00	21.30				
合計		度数	159	326	19	42	4	71	4	48	75	47			
		総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	5	7	0	1	0	5	0	7	2			
		総和の%	9.40	9.60	.00	20.00	.00	31.30	.00	23.30	7.10				
	サブ5	度数	25	41	1	3	0	6	0	6	10	13			
		総和の%	47.20	56.20	100.00	60.00	.00	37.50	.00	35.30	33.30	46.40			
	5時間以上・完走経験なし	度数	23	25	0	1	0	5	0	11	13	13			
総和の%		43.40	34.20	.00	20.00	.00	31.30	.00	64.70	43.30	46.40				
合計		度数	53	73	1	5	0	16	0	17	30	28			
		総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	62	154	11	19	3	44	1	21	44	21		
		総和の%	29.20	38.60	55.00	40.40	75.00	50.60	25.00	32.30	41.90	28.00			
	サブ5	度数	104	154	9	17	1	34	3	24	39	31			
		総和の%	49.10	38.60	45.00	36.20	25.00	39.10	75.00	36.90	37.10	41.30			
	5時間以上・完走経験なし	度数	46	91	0	11	0	9	0	20	22	23			
総和の%		21.70	22.80	.00	23.40	.00	10.30	.00	30.80	21.00	30.70				
合計		度数	212	399	20	47	4	87	4	65	105	75			
		総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			

ランナータイプとコース変更と性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	サブ5	5時間以上・完走経験なし	合計	友人・知人・家族	指導者・コーチ	スポーツショップの店員	フィットネスクラブのスタッフ	ウェブサイト (PC・タブレット)	ウェブサイト (携帯電話・スマートフォン)	facebook	twitter	mixi
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	207	8	4	0	544	90	110	10	3		
		総和の%	49.10	42.10	33.30	.00	52.90	56.60	50.50	47.60	23.10			
	サブ5	度数	148	8	4	2	350	47	74	8	9			
		総和の%	35.10	42.10	33.30	66.70	34.00	29.60	33.90	38.10	69.20			
	5時間以上・完走経験なし	度数	67	3	4	1	134	22	34	3	1			
総和の%		15.90	15.80	33.30	33.30	13.00	13.80	15.60	14.30	7.70				
合計		度数	422	19	12	3	1028	159	218	21	13			
		総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	40	2	0	0	45	8	12	0	1		
		総和の%	19.90	33.30	.00	.00	19.80	11.40	13.60	.00	20.00			
	サブ5	度数	101	4	2	0	95	36	40	1	3			
		総和の%	50.20	66.70	100.00	.00	41.90	51.40	45.50	20.00	60.00			
	5時間以上・完走経験なし	度数	60	0	0	0	87	26	36	4	1			
総和の%		29.90	.00	.00	.00	38.30	37.10	40.90	80.00	20.00				
合計		度数	201	6	2	0	227	70	88	5	5			
		総和の%	100.00	100.00	100.00	.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	247	10	4	0	589	98	122	10	4		
		総和の%	39.60	40.00	28.60	.00	46.90	42.80	39.90	38.50	22.20			
	サブ5	度数	249	12	6	2	445	83	114	9	12			
		総和の%	40.00	48.00	42.90	66.70	35.50	36.20	37.30	34.60	66.70			
	5時間以上・完走経験なし	度数	127	3	4	1	221	48	70	7	2			
総和の%		20.40	12.00	28.60	33.30	17.60	21.00	22.90	26.90	11.10				
合計		度数	623	25	14	3	1255	229	306	26	18			
		総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			

3-10) 京都マラソン2014の点数(100点満点)



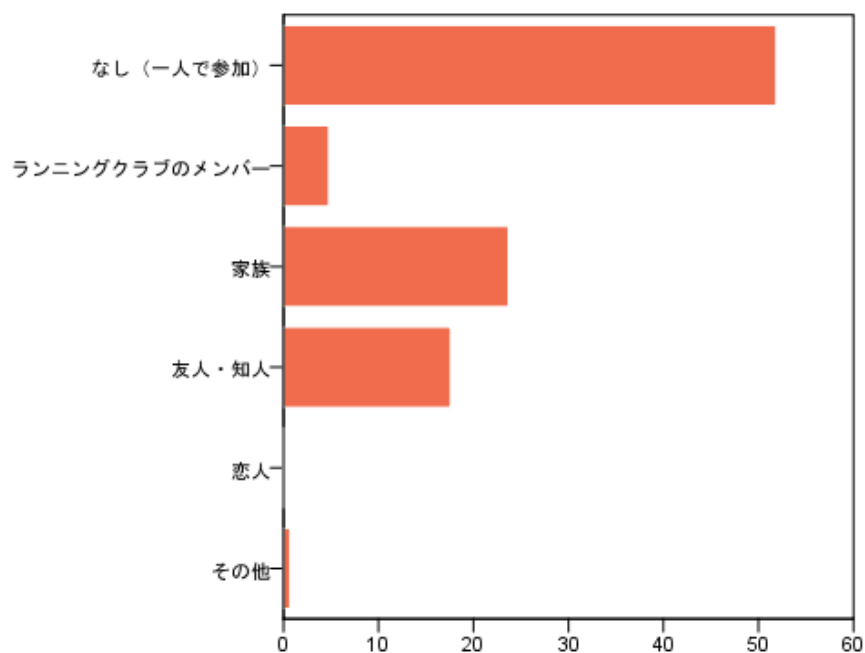
性別と京都マラソン2014の点数のクロス表

			京都マラソン2014の点数										
			1点台	10点台	20点台	30点台	40点台	50点台	60点台	70点台	80点台	90点台	100点
性別	男性	度数	3	6	2	18	13	47	136	406	955	1275	256
		性別の%	0.1%	0.2%	0.1%	0.6%	0.4%	1.5%	4.4%	13.0%	30.6%	40.9%	8.2%
	女性	度数	0	2	0	2	2	16	32	101	268	367	93
		性別の%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	1.8%	3.6%	11.4%	30.4%	41.6%	10.5%
合計		度数	3	8	2	20	15	63	168	507	1223	1642	349
		性別の%	0.1%	0.2%	0.1%	0.5%	0.4%	1.6%	4.2%	12.7%	30.6%	41.1%	8.7%

表3-10)は、京都マラソン2014の点数評価の度数分布表である。約8割のランナーが80点以上の評価をし、平均点は84.4点となった。男女別では、若干ではあるが、女性の方が評価が高かった。

#### 4. マラソン参加

##### 4-1) 同伴者



ランナータイプと同伴者、性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	サブ5	5時間以上・完走経験なし	合計	なし（一人で参加）	ランニングクラブのメンバー	家族	友人・知人	その他
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	905	88	365	242	7		
		サブ5	度数	624	39	295	165	5		
	5時間以上・完走経験なし	度数	272	14	128	109	4			
		総和の%	15.10	9.90	16.20	21.10	25.00			
	合計	度数	1801	141	788	516	16			
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	85	14	28	23	5		
		サブ5	度数	207	28	115	109	5		
	5時間以上・完走経験なし	度数	138	14	87	89	5			
		総和の%	32.10	25.00	37.80	40.30	33.30			
	合計	度数	430	56	230	221	15			
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	990	102	393	265	12		
		サブ5	度数	831	67	410	274	10		
	5時間以上・完走経験なし	度数	410	28	215	198	9			
		総和の%	18.40	14.20	21.10	26.90	29.00			
	合計	度数	2231	197	1018	737	31			
	総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00				

表4-1)、図4-1)は、ランナータイプと同伴者の分布を示している。1人で参加したランナーが最も多く、続いて家族、友人・知人との参加が多くみられた。

## 4-2) イベント情報入手経路

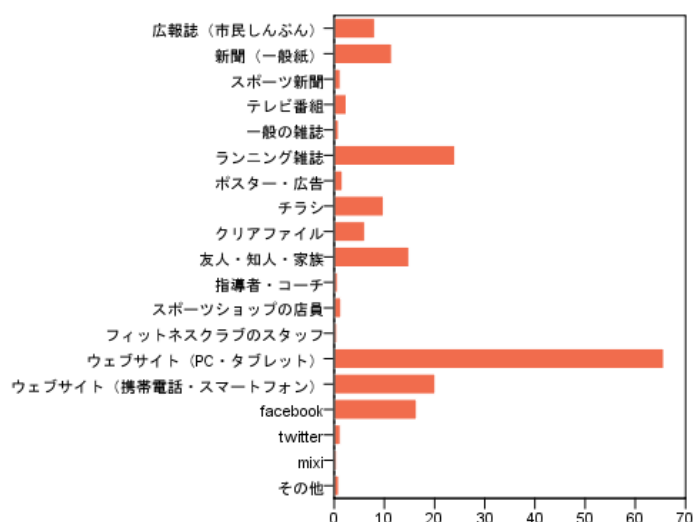


表4-2)、図4-2)は、ランナータイプと情報入手経路、性別の分布を示している。ウェブサイトでの情報入手が多くみられ、広報誌や新聞、雑誌など紙面による情報入手が次いで多くみられた。

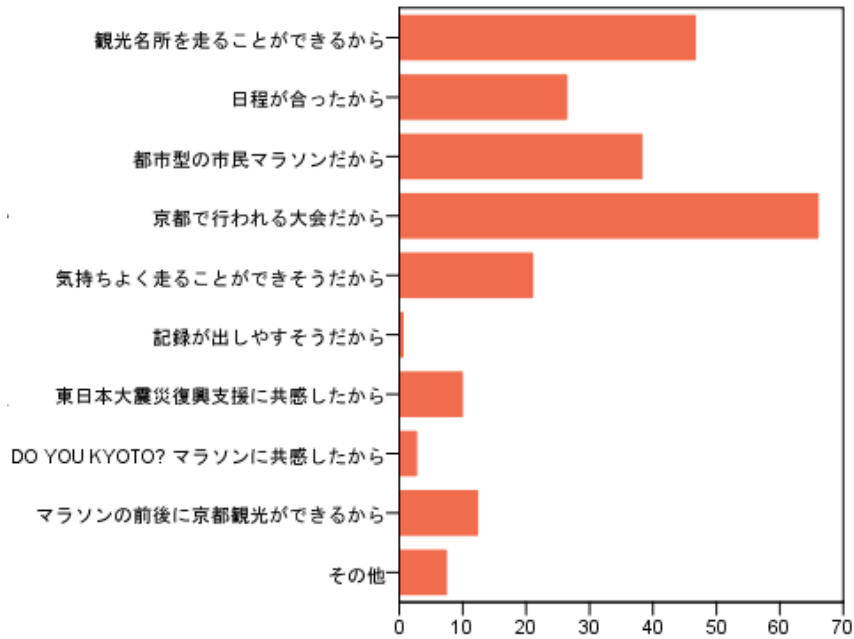
ランナータイプと情報入手経路、性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	サブ5	5時間以上・完走経験なし	合計	広報誌 (市民しんぶん)	新聞 (一般紙)	スポーツ新聞	テレビ番組	一般の雑誌	ランニング雑誌	ポスター・広告	チラシ	クリアファイル	友人・知人・家族
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	87	176	22	31	12	510	35	114	63	190	190	43.60
		サブ5	度数	112	139	16	32	12	252	19	132	79	152	152	34.90
	合計	5時間以上・完走経験なし	度数	67	94	6	15	8	89	4	77	44	94	94	21.60
		合計	度数	266	409	44	78	32	851	58	323	186	436	436	100.00
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	8	9	2	2	0	37	2	13	9	33	33	16.00
		サブ5	度数	37	45	2	9	2	105	5	46	33	93	93	45.10
	合計	5時間以上・完走経験なし	度数	38	35	4	14	4	42	6	43	35	80	80	38.80
		合計	度数	83	89	8	25	6	184	13	102	77	206	206	100.00
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	95	185	24	33	12	547	37	127	72	223	223	34.70
		サブ5	度数	149	184	18	41	14	357	24	178	112	245	245	34.90
	合計	5時間以上・完走経験なし	度数	105	129	10	29	12	131	10	120	79	174	174	27.10
		合計	度数	349	498	52	103	38	1035	71	425	263	642	642	100.00

ランナータイプと情報入手経路、性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	サブ5	5時間以上・完走経験なし	合計	指導者・コーチ	スポーツショップの店員	フィットネスクラブのスタッフ	ウェブサイト (PC・タブレット)	ウェブサイト (携帯電話・スマートフォン)	facebook	twitter	mixi	その他
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	12	13	2	1161	336	252	18	2	14	14	50.00
		サブ5	度数	3	18	8	787	205	195	13	7	9	9	32.10
	合計	5時間以上・完走経験なし	度数	3	13	4	326	91	86	4	1	5	5	17.90
		合計	度数	18	44	14	2274	632	533	35	10	28	28	100.00
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	1	1	2	103	33	28	1	2	2	2	16.70
		サブ5	度数	7	6	2	259	106	86	9	6	6	6	50.00
	合計	5時間以上・完走経験なし	度数	2	10	5	200	91	63	8	2	4	4	33.30
		合計	度数	10	17	9	562	230	177	18	10	12	12	100.00
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	13	14	4	1264	369	280	19	4	16	16	40.00
		サブ5	度数	10	24	10	1046	311	281	22	13	15	15	37.50
	合計	5時間以上・完走経験なし	度数	5	23	9	526	182	149	12	3	9	9	22.50
		合計	度数	28	61	23	2836	862	710	53	20	40	40	100.00

4-3) 参加理由



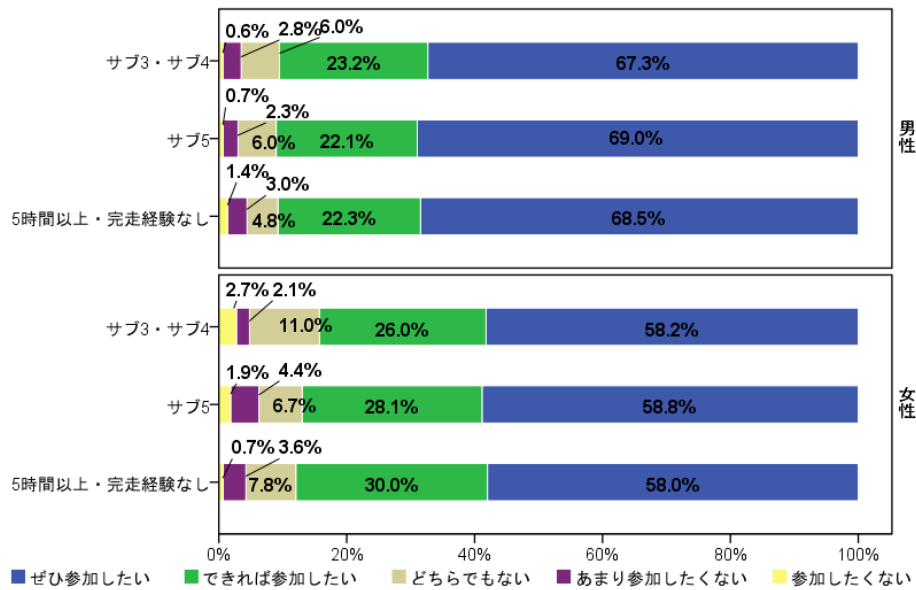
ランナータイプと参加動機、性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	サブ5	5時間以上・完走経験なし	合計	観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	京都で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから	記録が出しやすそうだから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	758	491	685	1115	332	19	169	56	235	121		
		総和の%	50.50	55.70	51.00	49.10	46.40	73.10	51.20	53.30	60.90	51.30			
	サブ5	度数	521	263	468	804	256	6	113	35	114	63			
		総和の%	34.70	32.10	34.80	35.40	35.80	23.10	34.20	33.30	29.50	26.70			
	5時間以上・完走経験なし	度数	223	107	191	350	127	1	48	14	37	52			
総和の%	14.80	12.10	14.20	15.40	17.80	3.80	14.50	13.30	9.60	22.00					
合計	度数	1502	881	1344	2269	715	26	330	105	386	236				
総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00				
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	87	48	53	105	34	2	15	4	31	23		
		総和の%	16.30	18.10	16.80	17.60	15.80	25.00	13.50	17.40	19.70	22.80			
	サブ5	度数	264	143	154	284	109	4	63	12	78	51			
		総和の%	49.40	54.00	48.90	47.50	50.70	50.00	56.80	52.20	49.70	50.50			
	5時間以上・完走経験なし	度数	183	74	108	209	72	2	33	7	48	27			
総和の%	34.30	27.90	34.30	34.90	33.50	25.00	29.70	30.40	30.60	26.70					
合計	度数	534	265	315	598	215	8	111	23	157	101				
総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00				
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	845	539	738	1220	366	21	184	60	266	144		
		総和の%	41.50	47.00	44.50	42.60	39.40	61.80	41.70	46.90	49.00	42.70			
	サブ5	度数	785	426	622	1088	365	10	176	47	192	114			
		総和の%	38.60	37.20	37.50	37.90	39.20	29.40	39.90	36.70	35.40	33.80			
	5時間以上・完走経験なし	度数	406	181	299	559	199	3	81	21	85	79			
総和の%	19.90	15.80	18.00	19.50	21.40	8.80	18.40	16.40	15.70	23.40					
合計	度数	2036	1146	1659	2867	930	34	441	128	543	337				
総和の%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00				

表4-3)、図4-3)は、京都マラソン2014の参加理由についての分布を示している。京都で行われる大会だから、観光名所を走ることができるから、という理由が多く見られたことから、京都という土地に魅力を感じて参加したランナーが多かったと考えられる。



4-4) 京都マラソン2015の参加予定



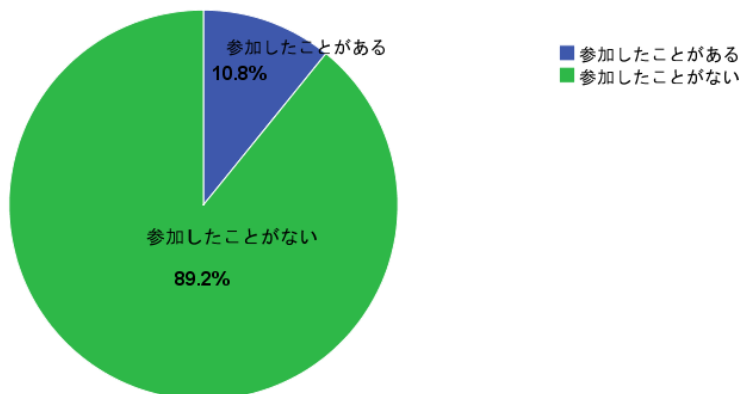
ランナータイプと京都マラソン2015への参加意図と性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	京都マラソン2015への参加意図					合計
				ぜひ参加した い	できれば参加 したい	どちらでもな い	あまり参加し たくない	参加したくな い	
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	1043	359	93	44	10	1549
		ランナータイプの%	67.3%	23.2%	6.0%	2.8%	0.6%	100.0%	
	サブ5	度数	738	236	64	25	7	1070	
		ランナータイプの%	69.0%	22.1%	6.0%	2.3%	0.7%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	341	111	24	15	7	498	
		ランナータイプの%	68.5%	22.3%	4.8%	3.0%	1.4%	100.0%	
合計	度数	2122	706	181	84	24	3117		
ランナータイプの%	68.1%	22.6%	5.8%	2.7%	0.8%	100.0%			
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	85	38	16	3	4	146
		ランナータイプの%	58.2%	26.0%	11.0%	2.1%	2.7%	100.0%	
	サブ5	度数	253	121	29	19	8	430	
		ランナータイプの%	58.8%	28.1%	6.7%	4.4%	1.9%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	178	92	24	11	2	307	
		ランナータイプの%	58.0%	30.0%	7.8%	3.6%	0.7%	100.0%	
合計	度数	516	251	69	33	14	883		
ランナータイプの%	58.4%	28.4%	7.8%	3.7%	1.6%	100.0%			
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	1128	397	109	47	14	1695
		ランナータイプの%	66.5%	23.4%	6.4%	2.8%	0.8%	100.0%	
	サブ5	度数	991	357	93	44	15	1500	
		ランナータイプの%	66.1%	23.8%	6.2%	2.9%	1.0%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	519	203	48	26	9	805	
		ランナータイプの%	64.5%	25.2%	6.0%	3.2%	1.1%	100.0%	
合計	度数	2638	957	250	117	38	4000		
ランナータイプの%	66.0%	23.9%	6.3%	2.9%	1.0%	100.0%			

図4-4)、表4-4)は、ランナータイプと京都マラソン2015への参加意図、性別の分布を示している。男女ともにぜひ参加したい、できれば参加したいが9割前後を占めており、今大会に満足したランナーが多かったと考えられる。

#### 4-5) マラソン参加経験

##### (1) 京都シティハーフマラソン(1994年～2009年)への参加経験

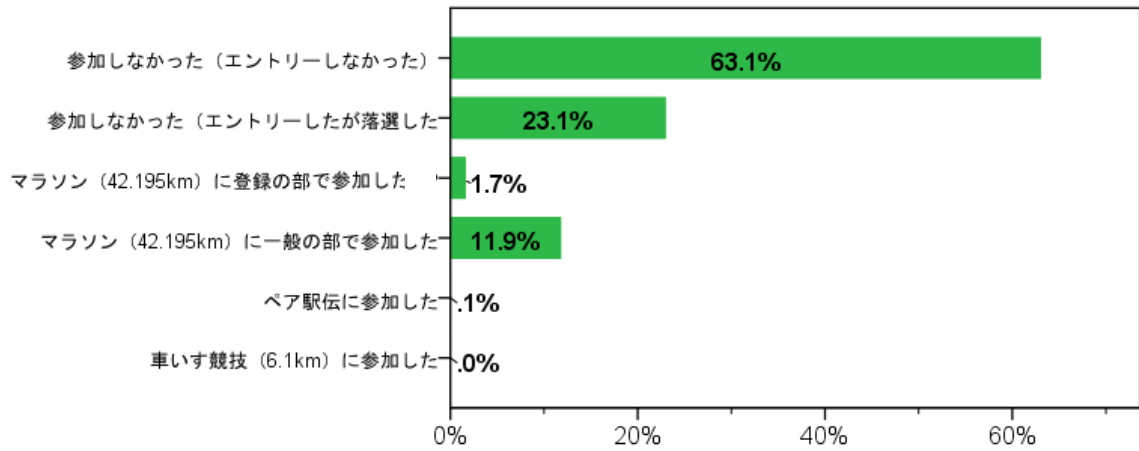


京都シティハーフマラソン（1994年～2009年）に参加したことがありますか。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数	参加したことがない	3675	82.0	89.2	100.0
	参加したことがある	447	10.0	10.8	10.8
	合計	4122	91.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	361	8.1		
	合計	4483	100.0		

図4-5)-(1)、表4-5)-(1)は、京都シティハーフマラソンへの参加経験についての度数分布を示している。参加したことがあるランナーは約10%であった。

(2) 京都マラソン2012(第1回大会)へのランナー参加経験

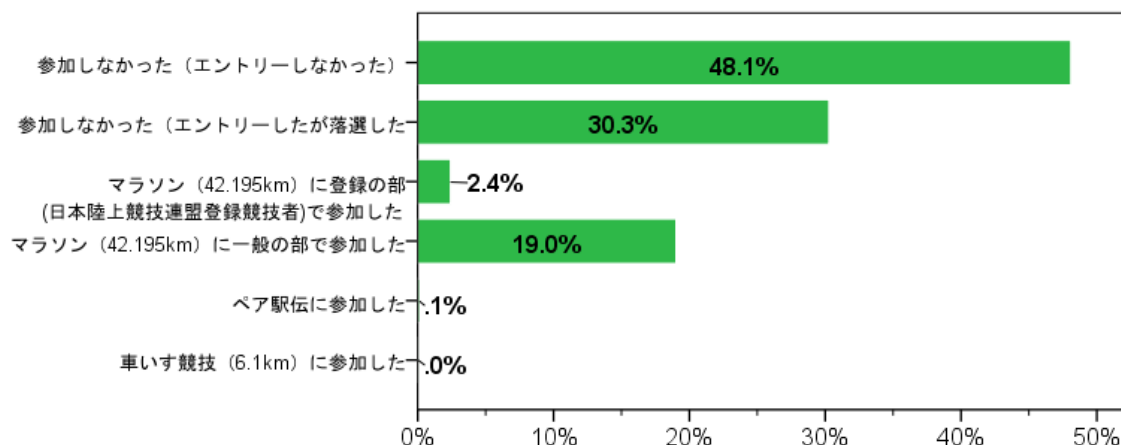


京都マラソン2012（第1回大会）にランナーとして参加しましたか。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数				
参加しなかった（エントリーしなかった）	2606	58.1	63.1	63.1
参加しなかった（エントリーしたが落選した）	953	21.3	23.1	86.2
マラソン（42.195km）に一般の部で参加した	492	11.0	11.9	99.9
マラソン（42.195km）に登録の部で参加した	72	1.6	1.7	88.0
ペア駅伝に参加した	3	.1	.1	100.0
車いす競技（6.1km）に参加した	1	.0	.0	100.0
合計	4127	92.1	100.0	
欠損値				
システム欠損値	356	7.9		
合計	4483	100.0		

図4-5)-(2)、表4-5)-(2)は、前々回大会（京都マラソン2012）への参加経験についての度数分布を示している。落選者も含め、参加していないランナーが86.2%と多くみられたことから、新規参加者が多かったといえる。

(3) 京都マラソン2013(第2回大会)へのランナー参加経験

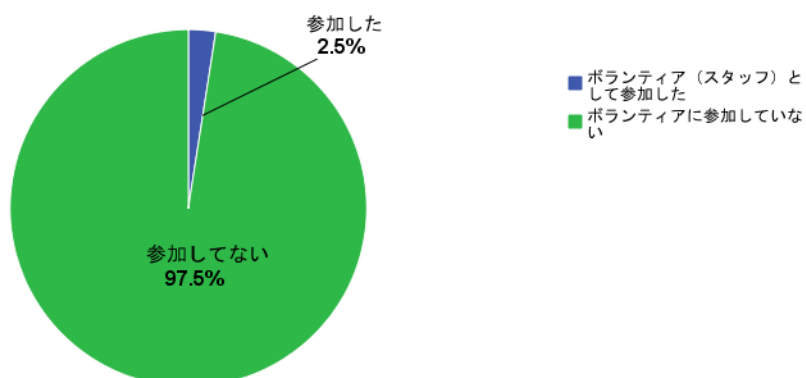


京都マラソン2013（第2回大会）にランナーとして参加しましたか。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数	参加しなかった（エントリーしなかった）	1990	44.4	48.1	48.1
	参加しなかった（エントリーしたが落選した）	1253	28.0	30.3	78.4
	マラソン（42.195km）に一般の部で参加した	787	17.6	19.0	99.8
	マラソン（42.195km）に登録の部（日本陸上競？）	100	2.2	2.4	80.8
	ペア駅伝に参加した	6	.1	.1	100.0
	車いす競技（6.1km）に参加した	2	.0	.0	100.0
	合計	4138	92.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	345	7.7		
合計		4483	100.0		

図4-5)-(3)、表4-5)-(3)は、前回大会（京都マラソン2013）への参加経験についての度数分布を示している。およそ8割のランナーが参加経験なしと答えた一方、2割弱のランナーは2年連続の参加となっていた。

(4) 京都マラソン2012・2013へのボランティア(スタッフ)参加経験



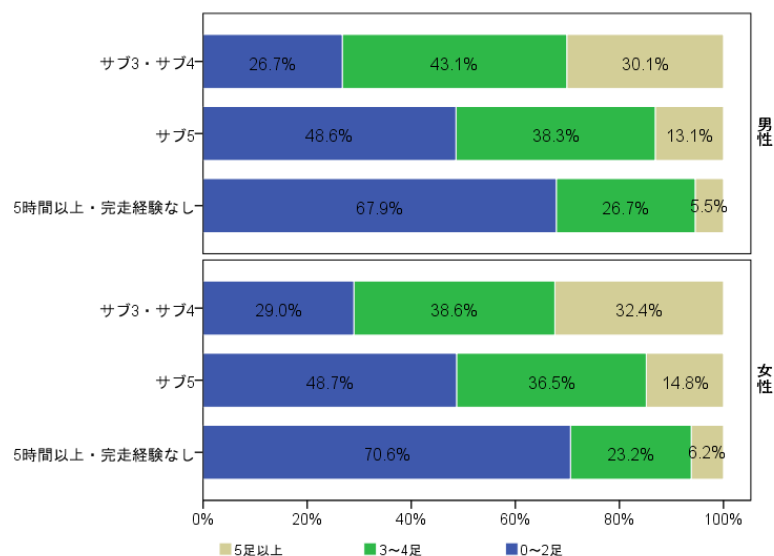
京都マラソン2012・2013のボランティア(スタッフ)として参加しましたか。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効数	ボランティアに参加していない	4019	89.6	97.5	100.0
	ボランティア(スタッフ)として参加した	101	2.3	2.5	2.5
	合計	4120	91.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	363	8.1		
合計		4483	100.0		

図4-5)-(4)、表4-5)-(4)は、京都マラソン2012・2013でのボランティアスタッフ経験についての度数分布を示している。97.5%のランナーが経験なしと答えていることから、ボランティア経験とランナーとしての参加はあまり関連がないと考えられる。

## 5. ランニング関連

### 5-1) シューズ所有数

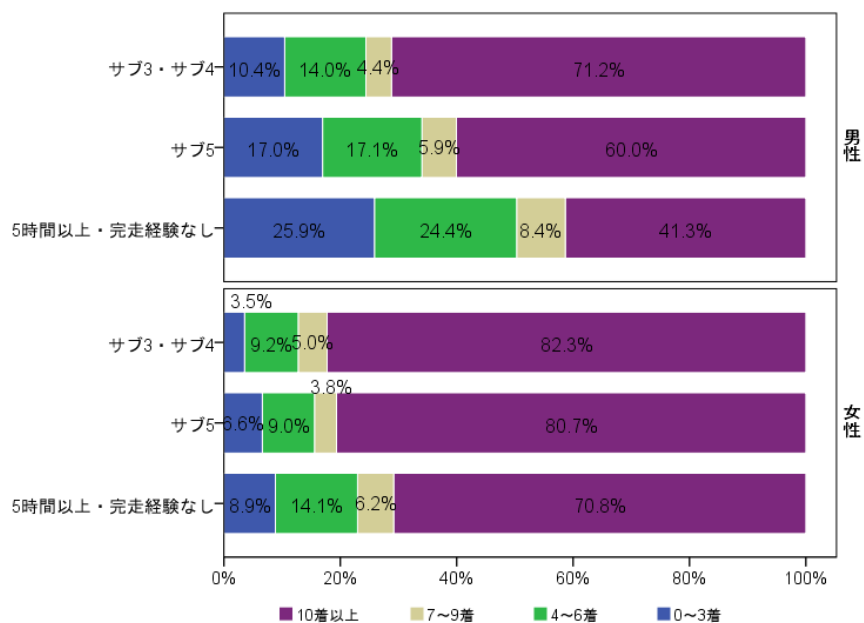


ランナータイプとランニング専用シューズの所有と性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	サブ5	5時間以上・完走経験なし	合計	ランニング専用シューズの所有			合計
						0~2足	3~4足	5足以上	
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	413	666	465	1544		
			ランナータイプの%	26.7%	43.1%	30.1%	100.0%		
	サブ5	度数	519	409	140	1068			
		ランナータイプの%	48.6%	38.3%	13.1%	100.0%			
	5時間以上・完走経験なし	度数	336	132	27	495			
		ランナータイプの%	67.9%	26.7%	5.5%	100.0%			
合計	度数	1268	1207	632	3107				
ランナータイプの%	40.8%	38.8%	20.3%	100.0%					
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	42	56	47	145		
			ランナータイプの%	29.0%	38.6%	32.4%	100.0%		
	サブ5	度数	207	155	63	425			
		ランナータイプの%	48.7%	36.5%	14.8%	100.0%			
	5時間以上・完走経験なし	度数	216	71	19	306			
		ランナータイプの%	70.6%	23.2%	6.2%	100.0%			
合計	度数	465	282	129	876				
ランナータイプの%	53.1%	32.2%	14.7%	100.0%					
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	455	722	512	1689		
			ランナータイプの%	26.9%	42.7%	30.3%	100.0%		
	サブ5	度数	726	564	203	1493			
		ランナータイプの%	48.6%	37.8%	13.6%	100.0%			
	5時間以上・完走経験なし	度数	552	203	46	801			
		ランナータイプの%	68.9%	25.3%	5.7%	100.0%			
合計	度数	1733	1489	761	3983				
ランナータイプの%	43.5%	37.4%	19.1%	100.0%					

表5-1)は、ランナータイプとランニング専用シューズの所有数を男女別にまとめたものである。最も多かったのが0~2足と答えたランナーで、全体の43.5%であった。しかし、ランナータイプ別にみると男女ともにサブ3・サブ4のランナーはおよそ3割が10足以上であるのに対し、5時間以上・完走経験なしのランナーは約7割が0~2足であった。自己ベストが速いランナーほど、多くのシューズを持っているということがいえる。

5-2) ウエア所有数

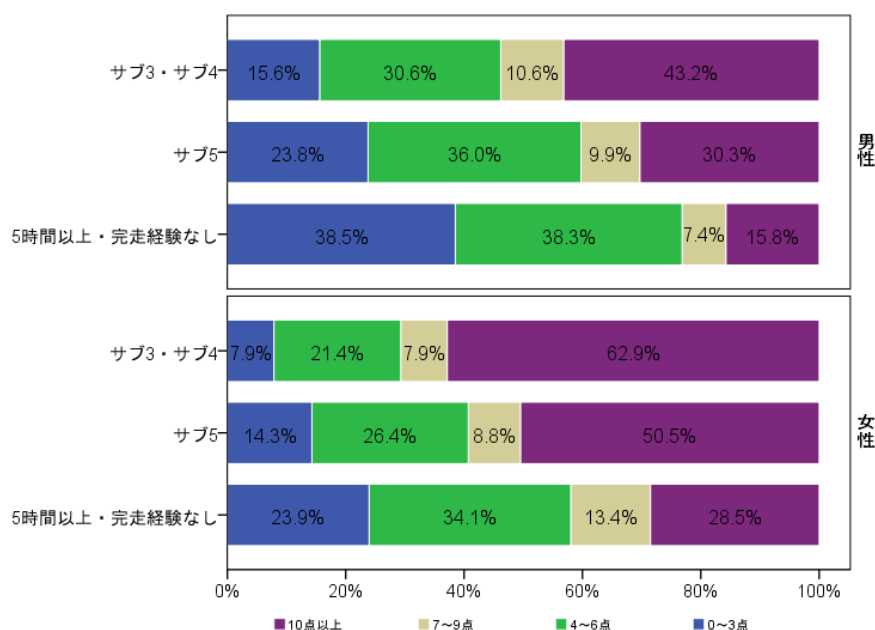


ランナータイプとランニング専用ウエアの所有と性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	ランニング専用ウエアの所有				合計
				0~3着	4~6着	7~9着	10着以上	
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	160	214	67	1091	1532
			ランナータイプの%	10.4%	14.0%	4.4%	71.2%	100.0%
	サブ5	度数	180	181	63	637	1061	
		ランナータイプの%	17.0%	17.1%	5.9%	60.0%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	127	120	41	203	491	
ランナータイプの%		25.9%	24.4%	8.4%	41.3%	100.0%		
合計			度数	467	515	171	1931	3084
			ランナータイプの%	15.1%	16.7%	5.5%	62.6%	100.0%
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	5	13	7	116	141
			ランナータイプの%	3.5%	9.2%	5.0%	82.3%	100.0%
	サブ5	度数	28	38	16	342	424	
		ランナータイプの%	6.6%	9.0%	3.8%	80.7%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	27	43	19	216	305	
ランナータイプの%		8.9%	14.1%	6.2%	70.8%	100.0%		
合計			度数	60	94	42	674	870
			ランナータイプの%	6.9%	10.8%	4.8%	77.5%	100.0%
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	165	227	74	1207	1673
			ランナータイプの%	9.9%	13.6%	4.4%	72.1%	100.0%
	サブ5	度数	208	219	79	979	1485	
		ランナータイプの%	14.0%	14.7%	5.3%	65.9%	100.0%	
	5時間以上・完走経験なし	度数	154	163	60	419	796	
ランナータイプの%		19.3%	20.5%	7.5%	52.6%	100.0%		
合計			度数	527	609	213	2605	3954
			ランナータイプの%	13.3%	15.4%	5.4%	65.9%	100.0%

表5-2)は、ランナータイプとランニング専用ウエアの所有数を男女別にまとめたものである。男女ともどのランナータイプでも、10着以上所有しているランナーが圧倒的に多かった。特に女性では、最も少ない5時間以上・完走経験なしのランナーでも7割以上が10着以上と回答している。同じランナータイプの男性の10着以上と回答したランナーが41.3%であることを考えると、女性は男性よりも多くのウエアを所有しているという傾向がみられる。

5-3) ランニング専用小物類の所有数



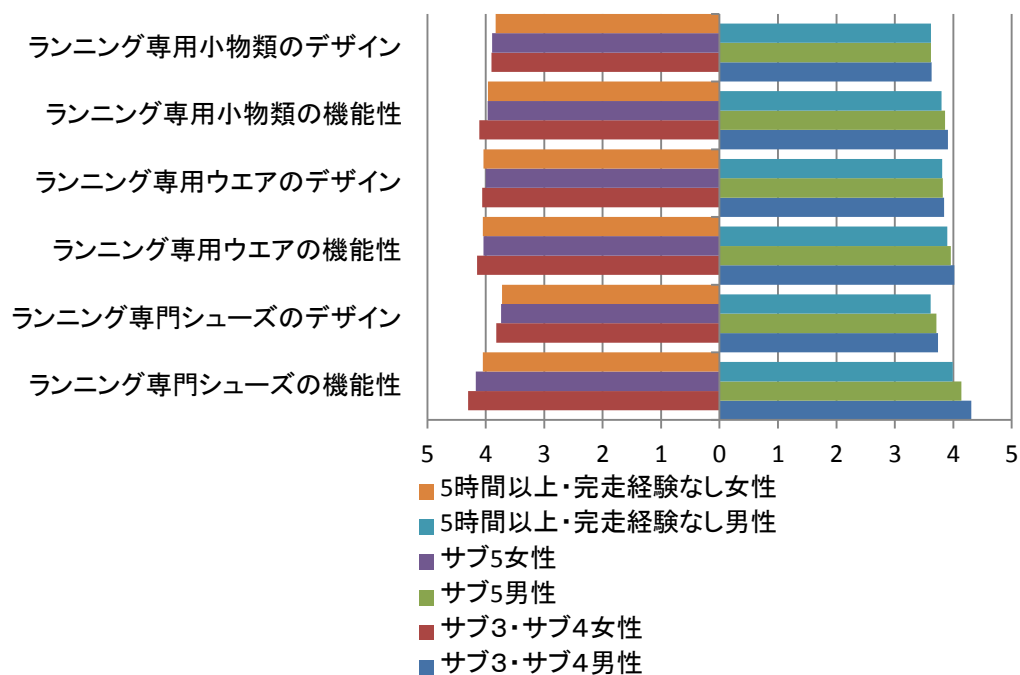
ランナータイプとランニング専用小物類の所有と性別のクロス表

性別	ランナータイプ	サブ3・サブ4	サブ5	5時間以上・完走経験なし	合計	ランニング専用小物類の所有				合計
						0~3点	4~6点	7~9点	10点以上	
男性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	238	467	162	659	1526		
			ランナータイプの%	15.6%	30.6%	10.6%	43.2%	100.0%		
	サブ5	度数	251	380	105	320	1056			
		ランナータイプの%	23.8%	36.0%	9.9%	30.3%	100.0%			
	5時間以上・完走経験なし	度数	188	187	36	77	488			
		ランナータイプの%	38.5%	38.3%	7.4%	15.8%	100.0%			
合計	度数	677	1034	303	1056	3070				
	ランナータイプの%	22.1%	33.7%	9.9%	34.4%	100.0%				
女性	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	11	30	11	88	140		
			ランナータイプの%	7.9%	21.4%	7.9%	62.9%	100.0%		
	サブ5	度数	60	111	37	212	420			
		ランナータイプの%	14.3%	26.4%	8.8%	50.5%	100.0%			
	5時間以上・完走経験なし	度数	73	104	41	87	305			
		ランナータイプの%	23.9%	34.1%	13.4%	28.5%	100.0%			
合計	度数	144	245	89	387	865				
	ランナータイプの%	16.6%	28.3%	10.3%	44.7%	100.0%				
合計	ランナータイプ	サブ3・サブ4	度数	249	497	173	747	1666		
			ランナータイプの%	14.9%	29.8%	10.4%	44.8%	100.0%		
	サブ5	度数	311	491	142	532	1476			
		ランナータイプの%	21.1%	33.3%	9.6%	36.0%	100.0%			
	5時間以上・完走経験なし	度数	261	291	77	164	793			
		ランナータイプの%	32.9%	36.7%	9.7%	20.7%	100.0%			
合計	度数	821	1279	392	1443	3935				
	ランナータイプの%	20.9%	32.5%	10.0%	36.7%	100.0%				

表5-3)は、ランナータイプとランニング専用小物類の所有数を男女別にまとめたものである。男女で大きな違いがみられ、サブ3・サブ4とサブ5のランナータイプの女性は、10点以上と答えた人がそれぞれ62.9%、50.5%と、男性よりもおよそ20%多く所有している。ウェアと同様に、男性よりも女性の方が多くのランニング専用小物類を所有していることがわかる。



5-4) ランニング用品へのこだわり



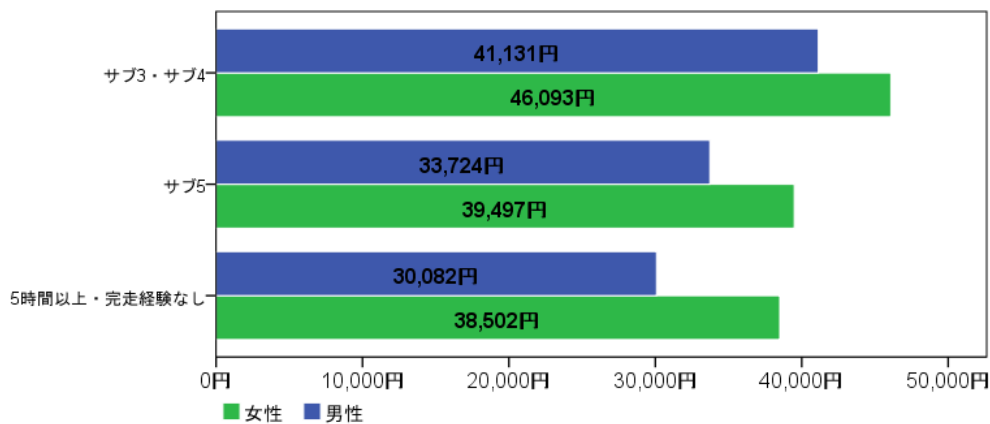
ランナータイプとランニング用品のこだわり、性別の平均値

ランナータイプ	性別		ランニング専用シューズの機能性	ランニング専用シューズのデザイン	ランニング専用ウェアの機能性	ランニング専用ウェアのデザイン	ランニング専用小物類の機能性	ランニング専用小物類のデザイン
サブ3・サブ4	男性	平均値	4.31	3.74	4.02	3.84	3.91	3.63
		度数	1540	1541	1537	1540	1536	1519
	女性	平均値	4.30	3.82	4.15	4.06	4.11	3.90
		度数	144	144	143	144	144	144
合計	平均値	4.31	3.75	4.03	3.86	3.93	3.65	
	度数	1684	1685	1680	1684	1680	1663	
サブ5	男性	平均値	4.14	3.71	3.96	3.82	3.86	3.62
		度数	1065	1063	1063	1059	1060	1054
	女性	平均値	4.17	3.74	4.04	4.00	3.97	3.89
		度数	423	424	421	422	423	422
合計	平均値	4.15	3.72	3.98	3.87	3.89	3.70	
	度数	1488	1487	1484	1481	1483	1476	
5時間以上・完走経験なし	男性	平均値	3.99	3.61	3.90	3.81	3.80	3.62
		度数	490	490	491	490	490	489
	女性	平均値	4.05	3.72	4.05	4.04	3.96	3.83
		度数	306	306	304	305	306	306
合計	平均値	4.02	3.65	3.96	3.90	3.86	3.70	
	度数	796	796	795	795	796	795	
合計	男性	平均値	4.20	3.71	3.98	3.83	3.88	3.63
		度数	3095	3094	3091	3089	3086	3062
	女性	平均値	4.15	3.74	4.06	4.03	3.99	3.87
		度数	873	874	868	871	873	872
合計	平均値	4.19	3.72	4.00	3.87	3.90	3.68	
	度数	3968	3968	3959	3960	3959	3934	

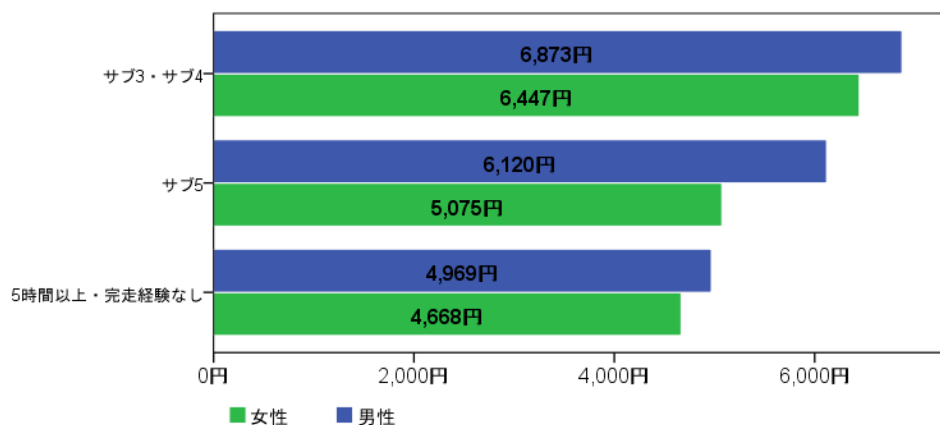
図5-4)、表5-4)は、ランナータイプとランニング用品へのこだわりを性別で分類した平均値である。どのランナーも用品のデザインより機能性の値が高く、またランナータイプが上がるほど高い値となっている。以上により、京都マラソン2014に参加したランナーは、機能性を重視していることがわかる。

## 5-5) ランニング関連消費支出

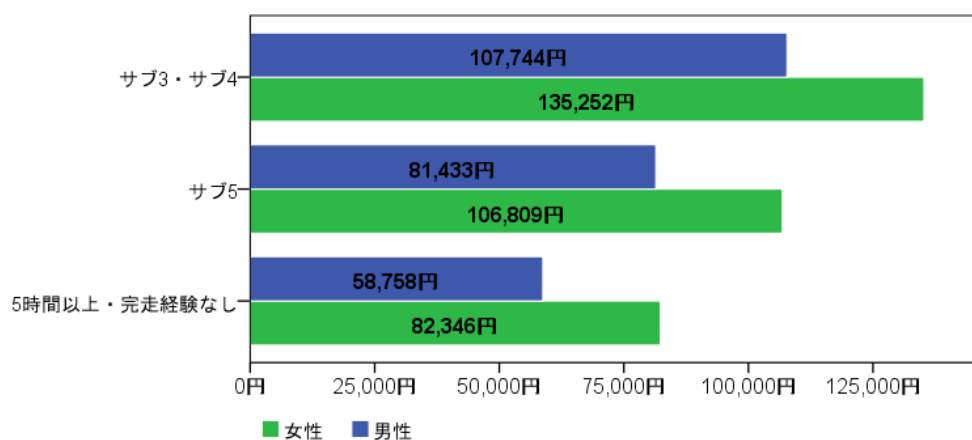
### (1) ランニング用品年間支出額(円)の平均値



### (2) ランニング雑誌・書籍年間購読額(円)の平均値



### (3) ランニング参加支出額(円)の平均額

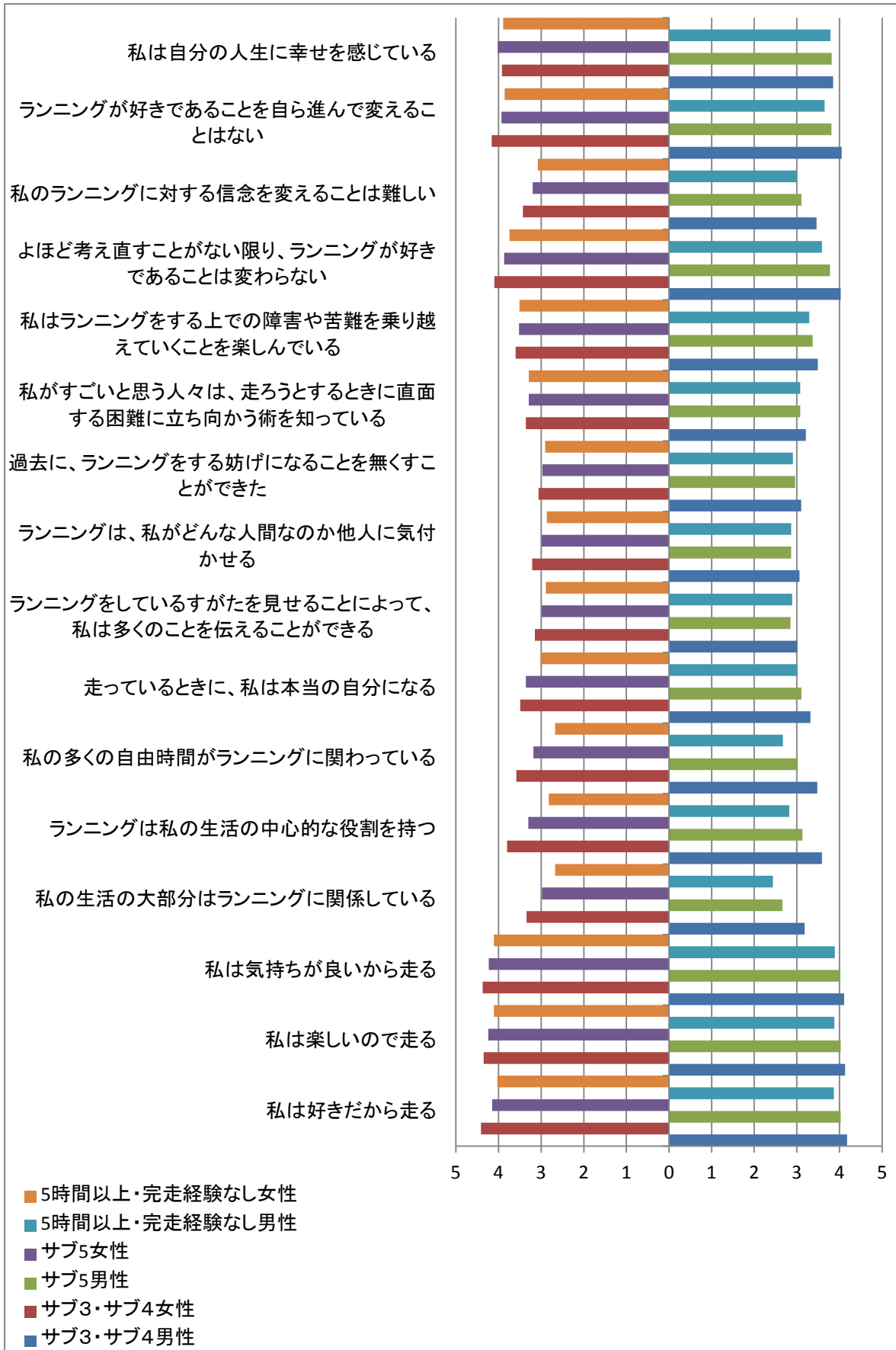


ランナータイプと性別によるランニング関連消費支出の平均値

ランナータイプ	性別		ランニング用品年間支出額 (円)	ランニング雑誌・書籍年間 購読額 (円)	ランニング参加 支出額 (円)
サブ3・サブ4	男性	平均値	41131.23	6872.72	107744.49
		度数	1470	936	1460
	女性	平均値	46093.43	6446.71	135252.24
		度数	137	73	134
	合計	平均値	41554.26	6841.89	110056.93
		度数	1607	1009	1594
サブ5	男性	平均値	33723.93	6119.82	81433.11
		度数	1007	550	959
	女性	平均値	39497.25	5074.89	106808.79
		度数	401	221	387
	合計	平均値	35368.18	5820.30	88729.09
		度数	1408	771	1346
5時間以上・完走経験なし	男性	平均値	30081.72	4968.89	58758.48
		度数	443	203	407
	女性	平均値	38501.80	4667.97	82346.26
		度数	278	133	265
	合計	平均値	33328.29	4849.78	68060.21
		度数	721	336	672
合計	男性	平均値	36900.38	6398.73	91760.79
		度数	2920	1689	2826
	女性	平均値	40265.56	5182.67	103410.38
		度数	816	427	786
	合計	平均値	37635.39	6153.33	94295.84
		度数	3736	2116	3612

図5-5)、表5-5)は、ランナータイプと性別による、ランニング関連支出額の平均値をまとめたものである。どの項目もランナータイプがあがるほど多くの支出を伴っていることがわかる。また、ランニング用品とランニング参加支出では女性の方が、ランニング雑誌・書籍購読額では男性の方が、多くの支出を行っていることがわかった。

5-6) ランニングへの取組



ランナータイプとランニングへの取り組み、性別のクロス表

ランナータイプ	性別			私は自分の人生に幸せを感じている。	ランニングが好きであることを自ら進んで変えることはない。	私のランニングに対する信念を変えることは難しい。	よほど考え直すようなことがない限り、ランニングが好きであることは変わらない。	私はランニングをする上で障害や苦難を乗り越えていくことを楽しんでいる。	私がつらいと思う人々は、走ろうとする時に直面する苦難に立ち向かう術を知っている。	過去に、ランニングをするのを無くすことができた。	ランニングは、私がどんな人間なのか他人に気づかせる。
		平均値	度数								
サブ3・サブ4	男性	平均値	3.85	4.05	3.46	4.03	3.49	3.21	3.10	3.06	
		度数	1534	1534	1536	1536	1534	1535	1529	1536	
	女性	平均値	3.92	4.16	3.43	4.10	3.60	3.36	3.06	3.21	
		度数	145	145	145	145	145	144	145	145	
	合計	平均値	3.86	4.06	3.45	4.04	3.49	3.22	3.10	3.07	
		度数	1679	1679	1681	1681	1679	1679	1674	1681	
サブ5	男性	平均値	3.82	3.81	3.11	3.78	3.37	3.08	2.96	2.87	
		度数	1062	1063	1056	1060	1061	1059	1059	1060	
	女性	平均値	4.02	3.93	3.20	3.87	3.52	3.29	2.97	2.99	
		度数	420	423	422	422	420	418	421	421	
	合計	平均値	3.87	3.85	3.13	3.81	3.41	3.14	2.97	2.91	
		度数	1482	1486	1478	1482	1481	1477	1480	1481	
5時間以上・完走経験なし	男性	平均値	3.79	3.65	3.00	3.59	3.29	3.08	2.91	2.87	
		度数	492	492	492	493	493	492	493	488	
	女性	平均値	3.89	3.86	3.08	3.74	3.51	3.29	2.91	2.87	
		度数	302	300	304	303	303	303	304	302	
	合計	平均値	3.83	3.73	3.03	3.64	3.38	3.16	2.91	2.87	
		度数	794	792	796	796	796	795	797	790	
合計	男性	平均値	3.83	3.90	3.26	3.87	3.41	3.15	3.03	2.97	
		度数	3088	3089	3084	3089	3088	3086	3081	3084	
	女性	平均値	3.96	3.94	3.20	3.86	3.53	3.30	2.96	2.99	
		度数	867	868	871	870	868	865	870	868	
	合計	平均値	3.86	3.91	3.25	3.87	3.44	3.18	3.01	2.97	
		度数	3955	3957	3955	3959	3956	3951	3951	3952	

ランナータイプとランニングへの取り組み、性別のクロス表

ランナータイプ	性別			ランニングをしている姿を見せることによって、私は多くのことを伝えることができる。	走っている時に、私は本当の自分になる。	私の多くの自由時間がランニングに関わっている。	ランニングは私の生活の中心的な役割をもつ。	私の生活の大部分はランニングに関係している。	私は気持ちが良いから走る。	私は楽しいので走る。	私は好きだから走る。
		平均値	度数								
サブ3・サブ4	男性	平均値	3.01	3.32	3.48	3.59	3.18	4.11	4.13	4.18	
		度数	1535	1535	1534	1537	1531	1536	1534	1536	
	女性	平均値	3.15	3.49	3.58	3.80	3.43	4.37	4.35	4.41	
		度数	144	144	144	145	144	145	145	145	
	合計	平均値	3.02	3.34	3.49	3.60	3.20	4.13	4.15	4.20	
		度数	1679	1679	1678	1682	1675	1681	1679	1681	
サブ5	男性	平均値	2.85	3.11	3.02	3.13	2.66	4.02	4.03	4.03	
		度数	1060	1060	1061	1059	1062	1060	1059	1063	
	女性	平均値	2.99	3.36	3.18	3.30	2.98	4.23	4.24	4.15	
		度数	421	420	423	422	421	421	421	420	
	合計	平均値	2.89	3.18	3.06	3.18	2.75	4.08	4.09	4.07	
		度数	1481	1480	1484	1481	1483	1481	1480	1483	
5時間以上・完走経験なし	男性	平均値	2.89	3.01	2.67	2.82	2.44	3.89	3.88	3.87	
		度数	494	494	491	491	492	490	495	493	
	女性	平均値	3.01	3.27	2.94	3.06	2.67	4.11	4.11	4.03	
		度数	302	304	304	304	303	304	305	303	
	合計	平均値	2.94	3.11	2.78	2.91	2.53	3.97	3.97	3.93	
		度数	796	798	795	795	795	794	800	796	
合計	男性	平均値	2.93	3.20	3.19	3.31	2.88	4.04	4.06	4.08	
		度数	3089	3089	3086	3087	3085	3086	3088	3092	
	女性	平均値	3.02	3.35	3.16	3.30	2.95	4.21	4.21	4.15	
		度数	867	868	871	871	868	870	871	868	
	合計	平均値	2.95	3.23	3.18	3.31	2.90	4.08	4.09	4.10	
		度数	3956	3957	3957	3958	3953	3956	3959	3960	

図 5-6)、表 5-6)は、ランナータイプとランニングへの取組、性別の平均値をまとめた表である。全体として「気持ちが良いから」「楽しいから」「好きだから」といった感情による値が 4.00 を超えており、京都マラソン 2014 に参加したランナーの多くは走ることを楽しんでいるといえる。

## 6. 自由記述意見

回答者 4,483 人のうち、62.5%の 2,805 人から自由記述意見をいただいた。その中で、特長的な意見を以下のとおり、20 のカテゴリーに分け列記する。また、より良い大会運営を目指し、次回大会に向けた対応策等についても併せて記す。

### (1) エントリー

抽選の発表時期を早くしてほしい。落選した場合、他の大会のエントリーに間に合わない。
個人ごとの抽選なので、仲間でのまとまった参加がしにくい点を改善してほしい。
一人ずつしか申込みできず、主人は抽選にもれました。家族や仲間でのエントリーなど、複数人エントリーができるとうれしいです。
京都市民枠を増やしてくれたことで市民としての盛り上がりは高く、周りに参加者が多いことで京都マラソンへの理解度が高まったように感じます。
参加者名簿がなくネット検索できるのは便利でした。
参加者名簿を作らず、ペーパーレスに取り組まれたことに非常に共感します。

#### 【次回大会に向けて】

ご家族や友人同士でまとめてエントリーいただけるよう、新たにグループエントリーを導入します。また、抽選結果発表日についても、これまでの「上旬」といった範囲ではなく、具体的な発表日をあらかじめ定め、大会参加の計画が立てやすくなるよう努めます。

### (2) 広報

大会前からホームページの充実ぶりに感心していました。
抽選に当選してからホームページをほぼ毎日閲覧していました。他のどの大会のホームページよりもセンスが良く、そして、おもてなしの心が伝わってきました。
参加案内書にスタート会場の各トイレの数が書いてある、各会場への交通手段や所要時間が案内してある等、ランナーが必要とする情報がきちんと記載しており、とても親切でした。

#### 【次回大会に向けて】

2015大会ホームページでは、新着情報やよくある質問を「ランナー」や「ボランティア」といったカテゴリー別に分けるとともに、前回大会のフォトギャラリーを新設しました。引き続き、分かりやすくきめ細かな情報発信に努めてまいります。

### (3) ランナー受付

雪で京都入りが遅れたことへの配慮（ランナー受付時間延長）も迅速で助かりました。
ランナー受付で、「千葉県から大雪のなか大変でしたね」と声をかけていただき、今までの疲れが吹き飛び、「あ～京都にきて良かったなあ」と心から思いました。
コース上の積雪情報や、開催有無、またゼッケン引換の時間延長等が土曜日朝の時点（午前9時頃）では発表がなかったのはちょっと残念でした。
遠方からの参加者は、可能であればマラソン当日に受付をしてもらいたいです。

#### 【次回大会に向けて】

関東地方を中心とする大雪により交通機関の乱れが生じ、ランナー受付締切を当初予定の19:00から22:00に延長する旨を、大会前日、土曜日の10:30に発表しましたが、今後は、こうした事態の際は、より速やかに発表できるよう努めてまいります。ランナー受付については、大会当日にスタート会場で行っている大会もありますが、定員16,000人の京都マラソンにおいては、西京極での受付は時間的、スペース的に困難であると考えております。

### (4) おこしやす広場

2階の屋台などが思いのほか楽しかったので、来年落選しても、あれだけでも行きたいなーって感じです。
今まで参加した大会の中で、おもてなしの心を一番感じました。前日受付での対応、名店の食事がリーズナブルな値段で食べれて、うれしかったです。
みやこめっせの出展ブースも昨年とあまり変化がないように思いました。もう少し工夫があるといいと思います。
ブースの割り振りが悪いのか通路が狭くて混雑し、見たいけど見れない状態でした。
参加費が高い割に、おこしやす広場のスポンサーブースの規模が小さく少ないため、ちょっと盛り上がり欠ける印象でした。
京都マラソンが東日本大震災の支援をしていることをみやこめっせで初めて知って、さらに京都マラソンが大好きになりました。

#### 【次回大会に向けて】

京都らしさを感じていただくとともに、京都マラソン出走のワクワク感を演出できるよう、更に盛り上がる会場づくりに努めてまいります。

(5) 参加賞・オフィシャルグッズ

参加賞の BUFF も良いですね。とても素敵で今後ずっと使用したい。他の大会は T シャツばかりですので。
参加賞の BUFF がよかった。みんなが、思い思いの形でワンポイントとして使っていた。
各大会の T シャツコレクションが楽しみであっただけに、今回の参加賞は大変残念でした。T シャツが欲しかったです。BUFF は一年中付けられないのが弱点。
参加賞が T シャツでなかったうえに、オフィシャルグッズの T シャツが売り切れていたのが残念だった。
オフィシャルグッズをもっと充実させてほしい。

【次回大会に向けて】

参加賞は、寒さ対策を含め多彩な使用方法がある BUFF を次回大会でも継続配布させていただきます。なお、T シャツを希望される方にお応えすべく、オフィシャルショップでの T シャツ販売等を充実できるよう取り組んでまいります。

(6) スタート

ホテルの朝食時間をもう少し早めていただけると嬉しいです。例えば 5 時 30 分から。
スタート前の西京極駅の混雑が年々緩和されている。
京都駅からの市バスの臨時便はとても良かったです。台数が増えれば、更にうれしい。
大会開催日を 2 月にしたのなら、防寒対策にスタート地点の更衣エリアをもう少し暖かくしてほしい。
スタート会場の女子トイレが少ないと思います。男子はすいているのに、女子トイレは長い列ができていました。
スタート会場でのスタッフの声かけによるトイレ案内は非常に素晴らしいと思った。
今までに参加した大会（都市マラソン、地方都市マラソンなど）の中で一番良かった。スタート直前に、男子トイレが混雑していたので空いた女子トイレを臨時開放したり、ゴミ箱の場所がわからなくてボランティアに尋ねると「私が捨てておきますよ」とゴミを預かってくれたりと、運営の質の高さには感動させられた。
荷物を預けてからスタートまで 30 分以上、寒い中整列していました。
スタート地点の整列が清々として世界第一。割り込みが出来なくて良い。
補助競技場にはセレモニーのアナウンスが聞こえず、黙とうをしているのを全然知りませんでした。サブグラウンドのスピーカーに音が通ってなかった。
スタートゲート下のマットで転倒する方が複数おりました。



【次回大会に向けて】

ホテルの朝食時間については、前倒し開業の協力依頼を行っているところですが、各施設の仕様や営業形態上、課題があることから、実現に至っていないホテルがあるのが実情です。スタート会場の更衣室や女子トイレ数については、充実を検討してまいります。補助競技場のアナウンスについては、放送施設の不具合が原因で、ご不便をおかけしました。次回大会での改善を図ります。また、スタート地点のマットめくれについても、雨天対応が不十分であったものであり、改善を検討しているところです。

(7) 給水・給食、沿道トイレ、サイン表示

給水・給食等は1か所当たりのテーブル数が多く、取り損ねがないのは非常にありがたいです。
給水所でのコップ手渡しが非常に慣れていて受け取りやすかった。水の量もコップ半分位で丁度良かった。
生ハツ橋は最高のフードです。エネルギー源で、甘くて、柔らかくて、手が汚れない。その上、京都らしい。多分、史上最高のマラソンフードです。
オレンジは初めてエイドで食べましたが、ほんと体の疲れが取れますね。
給食は、塩分のある物がもう少し欲しいと感じました。例えば、京漬物など。
寒い時期なので、温まるもの（ぜんざい、スープなど）を検討して下さい。
エイドとトイレの数と案内サインの数がとても豊富で、安心して走ることができるのも魅力の一つでした。
他の大会と比較して、京都マラソンのすばらしい点は、給水やトイレの案内表示が非常に分かりやすいことです。
多様な掲示板が異常に見やすかったです。掲示位置、大きさ、掲示場所、絶妙だと思います。こんなに掲示物がはっきりと目に入ってくる大会知りません。スタッフの皆さんがよく考え研究されているのだと感じました。
沿道の応援、きめ細かな距離表示、トイレ案内のおかげで本当に気分よく安心して走ることができました。そこまでやるの？と思うぐらい親切なレースでした。
マラソンでクレームになりやすいトイレについては、十分あり、スムーズだったと思います。
トイレを頻りに設置していただけたのはありがたいですが、やっぱりどこも並んでいました。場所によっては、もっと増やした方がいいのではないのでしょうか。
渡月橋や大文字山の案内サインをみてテンションが上がりました。
コース上の観光名所の案内板は、他県からのランナーへの良い気配りだと思います。

【次回大会に向けて】

給食メニューについては、今回、オレンジやパンなど充実を図ったところですが、更なる充実に向け検討してまいります。また、コース上のトイレについても、各トイレの使用実績を踏まえ、基数の充実を図るとともに、観光案内サイン（ビューポイント）についても、増設を検討するなど、楽しみながら走っていただける環境づくりを推進します。

(9) 救護

医療救護のサポーターの AED の旗が大変見やすかったです。
転倒された方への救護の早さにびっくりしました。
ボランティアの方が二人がかりで私を介抱していただき、30 分近くもマッサージ等していただきました。今、こうしてメッセージを書いても涙がでできます。

【次回大会に向けて】

引き続き、救護体制の充実を図り、安心・安全な大会運営を目指します。

(10) 仮装・ニックネームゼッケン

仮装ランナーがいないことで、全てのランナーが全ての応援者に応援してもらえてると感じる事が出来ました。
全体としてコースが狭く、なるほど仮装禁止のわけも理解できました。
市民マラソンなので、仮装を認めても良いのではと思いました。
ニックネームゼッケンでの参加だったので、沿道の人々の声援に 100 倍の元気をもらいました。
今回ゼッケンに名前を入れる取り組みをされましたが、応援する側もされる側どちらにとっても良い企画だと思いました。ニックネームを呼んでくれる人が多く、沿道の応援がうれしかったです。
大会コンセプト「東日本大震災復興支援」「DO YOU KYOTO？」は、とても大きく深いコンセプトと感銘を受けています。背中ゼッケン「3.11 忘れない」「今、私にできること」「一歩ずつ前へ」は、マラソン 30km 過ぎの苦しいときに、心に沁みました。この背中ゼッケンの「仕掛け（言葉）」を考えた運営者のセンスは、さすが京都！素晴らしいと感じました。

【次回大会に向けて】

コース幅が広くないこともあり、仮装しての出走は引き続き禁止させていただきます。なお、沿道からの応援の盛り上げを図る取組として前回新たに導入しましたニックネームゼッケンは、好評につき、次回大会でも継続実施してまいります。

(11) コース(宝ヶ池通・狐坂)

狐坂がなくなれば、高齢者や私のような膝を痛めた者でも足への負担が軽減され、より走りよい大会になると思います。

市民マラソンで、狐坂のような過酷な場所を走らせるのはおかしいと思う。狐坂の変更は英断だと思います。

大阪マラソンは「南港大橋」、神戸マラソンは「神戸大橋」、奈良マラソンは「天理市への峠」等々、代名詞と言える難所があるものだと思います。「狐坂」は京都マラソンのシンボルとしてぜひ残してほしいと思います。

宝ヶ池トンネル内を走行しているとき、どこからともなく「がんばるぞー！」という掛け声が聞こえました。その直後、周りのランナーが「おー！！」と歓声。それが終わると、また誰かが「がんばるぞー！」と掛け声。それに対する歓声。ランナーの歓声がトンネル内に共鳴し、幻想的な雰囲気になりました。こんな体験ができるのは京都マラソン以外にありません。

【次回大会に向けて】

宝ヶ池通の狐坂については、市民マラソンにおいては厳しすぎるとのご意見が多く、より広範囲の方に参加、そして完走いただける大会を目指す観点から、次回大会においてコースからなくすこととしました。一方、京都マラソンのシンボルとして残すべきとのご意見もいただきましたが、コース変更により、新たに、まちなかや府立植物園といった魅力が加わったと考えておりますので、ご理解いただけたら幸いです。

(12) コース(鴨川(賀茂川)河川敷)

30km 付近の鴨川沿いの土の上を走らせていただけたのは、とてもありがたかったです。痛みが足に来ていたので、雨上がりのソフトな土の感触は涙が出るほど嬉しかったです。

賀茂川沿いのコースは非常に狭い道幅ですが、京都を走っている気分が最も高まりました。アスファルトではないし、ふかふかしていて足が癒されました。急に視界が開けて、気分転換もできました。

ぐちゃぐちゃになっていることを覚悟していた賀茂川の河川敷も、おどろくほどきれいで吃驚！スタッフの方々がきれいに整備してくださったと後で聞き、感動いたしました。

河川敷の未舗装の道を走るのは気持ちよかったが、今回のように前日に雨が降ったりすると柔らかくて走りにくかったです。

大都市マラソンで河川敷を走るのはいかがでしょうか。

【次回大会に向けて】

鴨川(賀茂川)の河川敷については、山紫水明の京都を象徴する環境であるとともに、京都を代表するランニングコースでもあります。この点に加え、立体交差の少ない京都において、河川敷は立体交差の機能を有することから(上の橋を車両が通行可能)、河川敷をコースに取り入れているところです。雨天時の課題はありますが、少しでも走りやすい環境整備に引き続き努めてまいります。

### (13) コース幅、定員

参加人員の 16,000 人という数は、ちょうどいい人数だと思います。
来年は参加枠を更に拡大し、より多くのランナーが参加できるようにしてほしい。
京都市民枠を 3,000 人くらいに増やしてほしい。総数は 20,000 人くらいでもいいと思う。
コース幅が狭いので最初から最後まで追い抜くのに神経を使いました。申告タイムを偽った方が前方スタートでゆっくり走ってるのも原因の一つかもしれません
スタートブロックを、目標ではなく厳密に近年の実績別にするなどして、渋滞を緩和するようにするしかないように思います。
コースが狭くて追い越すのが大変でした。やはり一車線部分はしんどいですね。私はどちらかといえば後半型なので苦労しました。参加人数はこれ以上増やさないで欲しいです。
やっぱり 1000 人増えた分、スタート前の渋滞が多かったと思います。ランナーに「歩く場合は、徐々にスピードを落として、道路の端っこで歩く」ようにアナウンスしてほしいです。
道端が狭くて人が多くペースを上げたくても難しいときの対処法を考えてほしい。例えば、周りの人のペースより自分が遅いときは左側へ、といった方法など。
とくに 1 車線しかないところはかなり走りにくかったのでストレスでした。交通規制による渋滞の問題があるでしょうが、1 年に 1 度の大会イベントですから、参加人数をもっと増やして参加したい人はみなさんできるようにしてもらい、もっと広々としたコースにして気持ちよく走れるようにしてもらえればもっともっとよい大会になると思います。
コース中に急に立ち止まり写真撮る、仮装以上に危険な行為です。パンフレットや WEB、スタート前の注意事項としてマナー提起してほしいです。
当選確率は下がりますが、人数を減らした方が、「安全」のためかと考えます。

#### 【次回大会に向けて】

コース後半でコース幅が狭くなる場所（北山通や下鴨中通）では、歩くランナーがいる中でも、追い抜きしやすいよう、「歩く方は左」というサインを設置したところですが、それでも走りにくいとの感想を多くの方が持たれたようです。次回大会では、サインの拡充を図るとともに、大会ホームページや参加案内パンフレットでも告知の強化を図り、走りやすい環境整備に努めます。また、スタート地点での整列方法についても、より走力にあった整列実現をめざし、過去 3 年間に出走経験のある方を優先し、初マラソン等の方は、後方ブロックスタートとなるよう、ランナー募集要項の見直しを行いました。

#### (14) コース設定 (今後のコース変更)

コース改良がなされるのであれば、なお素晴らしい大会になると思います。新コース第1回目も是非走ってみたいと思っています。
思い切ったコース作りを期待します。折り返しが多く、その点に関しては走りにくさを感じました。
京都マラソンという名称からイメージすると、四条通りや河原町通りなどの繁華街エリアがコースが入っていてほしいなど以前から思っています。
後半の銀閣寺に向かっているのぼりが一番きついで、変更するならそこを考えてほしいです。
完走したあとはもう走りたくないと思ったが、しばらく経ってこういったコースも面白かったかなと思い直している。

#### 【次回大会に向けて】

コースのあり方については、さまざまなお意見をいただいております。それだけ、京都マラソンに期待いただいているものと真摯に受け止めておりますが、京都は、大都市でありながら景観政策上、立体交差が少なく、また、職住接近のまちでもあることから、市民生活や自動車交通に大きな影響を与える市民マラソンの開催には不利な環境にあるといえます。よって、コースを抜本的に見直すことは、容易なことではなく、将来的な課題と認識しております。

#### (15) フィニッシュ

市長がゴール地点で完走者一人ひとりに袴姿で握手されていたのは、非常にうれしく、おもてなしを受けた気分になりました。
フィニッシュ時の給食メニューを増やしてほしい。バナナとみそ汁だけでは、少し物足りないです。
お豆腐入り白味噌のお味噌汁が京都らしく、とても美味しく、疲れた体に沁みました。量が多かったら、もっとうれしかったです。
バスタオルを肩に掛けてくださり、荷物置き場までの寒さ対策（ジェットヒーター）もとても良かったと思います。完走メダルも首にかけてくださり、頑張れた喜びを感じました。
一番残念だったのが、フィニッシュ後の荷物の受け取りエリアに屋根がなく、荷物が野ざらしになっていたことでした
前回よりは短くなったが、それでもフィニッシュ後、更衣室入口までが遠いです。
舞妓はんと記念撮影ができるのは、京都ならではの素敵な企画だった。
女子更衣室は室内暖房してあり、絨毯だったのでゆっくり座ることもできて良かったです。また、足湯が最高でした。
おつかれさま広場はランナー限定にするのではなく、一般、少なくともランナーの家族は入場できるようにしてほしい。冬の待ち合わせは、やはり建物の中にしてほしいです。
応援の家族がフィニッシュ周辺で待つときに今年は屋外であった。今年は天候がよかったが、昨年のように雨だったら雨をしのぐ場所がない。何とか知恵を出してほしい。
必ず座れる100円シャトルバスが素晴らしかった。

【次回大会に向けて】

フィニッシュ会場の岡崎一帯には、平安神宮をはじめとする観光名所や美術館、図書館、動物園といった集客施設が多数存在します。マラソン開催に当たっては、これらの施設との共存が不可欠で、ランナーの導線、応援者の待機場所、帰路ルートといった複合的要素を、少しでもスムーズに設定できるよう、これまでの開催実績も活かしながら、検討を重ねてまいります。

(16) 完走記念品、完走証

メダルがもらえることを知らず、首にかけてもらった瞬間、恥ずかしながら泣いてしまいました。この年になってこんな経験ができたのは、本当に幸せです。
完走メダルやフィニッシャータオルも、デザインのセンスが良く、うれしかったです。
フィニッシュ地点でのタオルは冷え防止にとっても役立ちました。
メダルの形やリボンの色が毎年違うと嬉しいです。
メダルの裏のプレートを貼るところに不満があります。購入してプレートを貼らないと未完成のような感じになる。
完走証も後日ではなく、本当は当日に欲しいです。
順位が早く知りたいので当日に記録証がほしい。

【次回大会に向けて】

完走メダルについてはデザインの一新を検討しております。また、完走証についても、参加者数が16,000人と多い大会ではありますが、当日発行ができないか、検討を行いたいと考えております。

(19) ランナーアンケート

事前送付の参加案内パンフレットに、前年からの改善点が書かれていて、参加者の声を大切にしている姿勢が感じられ、好感をもてました。
毎年このようにアンケートを実施されて、大会を良くしていこうという意思を感じます。
このアンケートの問題数が多すぎます。最初に何分くらいの時間がかかるか明記して欲しかった。

【次回大会に向けて】

アンケートへのご協力ありがとうございます。より良い大会運営のため、様々な質問を設定させていただいております。次回からは、回答に係る時間の目安をあらかじめお示ししたいと考えております。

(20) 大会運営全般

ボランティアや沿道の方の応援が温かく、苦しいときに「おきばりやす」の声で支えられました。
ボランティアスタッフの方々の意識の高さに終始感心しておりました。
やはりなんといっても京都マラソンの質の高さは、関わる人達の質の高さによるものだと感じます。
初マラソン大会を京都で走らせていただき、大変満足しました。あらゆる面で手配がいきとどき、全体として京都マラソンの運営は完璧だと感じました。この京都での初マラソンがとても充実したため、これからもいろんなマラソン大会に参加したくなりました。ありがとうございました。
今回で20回目のフルマラソンでした。「京都マラソン2014」は、私にとって一番心に残る大会になりました。
これまでに80回以上マラソン大会に参加していますが、ボランティアスタッフの対応は、一番良かったと思います。フレンドリーで頼もしく、元気で明るく、本当に参加してよかったと思える対応でした。
かゆい所に手が届くような、至れり尽くせりの運営者の細やかな配慮に大変満足しております。どんどん進化している京都マラソンこれからも期待しています。
フィニッシュ後の味噌汁サービス、給食やトイレ表示のわかりやすさなど、昨年よりどんどん改善されている点に感動すら覚えます。
今まで何度となく国内、海外の大会に参加しましたが、間違いなく、ベスト3に入る素晴らしいマラソン大会だと思います。よく鍛え上げられた運営だと思います。これだけの大規模都市型マラソンでのスムーズな運営は、今まで経験がありません。

【次回大会に向けて】

京都マラソンは、ランナー、応援者、スタッフが、それぞれ主役になるような大会運営を目指しております。関わる方々の満足度が更に高まり、満足度日本一のマラソン大会となるよう、今後とも、安心安全な大会運営はもとより、創意工夫を重ね、オリジナリティあふれる大会運営を目指してまいります。



京から明日へ。  
 京都マラソン  
2014

京都マラソン 2014 マネジメント・リサーチ・チーム

同志社大学スポーツ健康科学部 教授 二宮浩彰  
龍谷大学経営学部 教授 松永敬子  
立命館大学スポーツ健康科学部 教授 長積 仁

データ分析チーム

同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ・マーケティング研究室  
マラソン調査研究チーム

研究代表 二宮浩彰 辻 和真（二宮ゼミ学部生） 石田理都（二宮ゼミ学部生）